

令和3年度事業報告書

社会福祉法人 合志市社会福祉協議会

目 次

全体総括	1
実施事業一覧表	2
(1) 総務課	10
(2) 地域福祉課	16
(3) こども支援センター	34
(4) 介護サービス課	
デイサービスセンター班	47
ヘルパーステーション班	50
訪問看護ステーション班	52
ケアプランセンター班	54
(5) このみ坂保育園	57
(6) 障がい者支援センター	
スペーシアれんが班	59
通所支援班	61
相談支援班	64
(7) 生活支援相談センター	67

全 体 総 括

新型コロナが2020年1月に日本で初めて感染確認されて丸2年が経過した。終息が見えない中、感染の波は年度末までに六波を数え、変異を繰り返すたびに感染力も増し全国的に感染者が増加した。

この感染症は、本会の経営や組織運営、行事、福祉サービスといったあらゆる面において影響がおよんだ。休業を余儀なくされることもあり、感染することを念頭に置いた事業運営の在り方を学んだ。

□ 陽性が確認されたことによる休業状況

関係課	休業した回数	休業延べ日数	職員	利用者等
2課	7回	18日	3人	6人

※ 陽性が確認されたものの休業に至らなかったものは除く。

市民生活にも大きな影響があった。新型コロナウイルス感染症の影響により休業や失業状態などで、収入が減少して生活資金が必要な方からの貸付相談は絶えることなく、また、生活困窮者自立相談事業でも新型コロナの影響を受けた相談は昨年度から4割を超える傾向が続いた。

□ 生活福祉資金新型コロナウイルス特例貸付(県社協受託事業)

項 目	緊急小口 資 金	総合支援資金			合 計
		初回	延長	再貸付	
申請件数	194	158	21	108	481
内、貸付決定	174	155	21	108	458

※ 「延長」、「再貸付」は、R3年6月末、同12月末をもって終了。

□ 生活困窮者自立相談事業の相談状況(市受託事業)

新型コロナウイルス 感染症関連				その他の生活困窮相談					合 計 (a+b)	人口6～7万人規模	
減 収	失 業	関 連 相 談	合 計 (a)	経 済 的 困 窮	失 業	引 き こ も り	そ の 他	合 計 (b)		国 の 業 績 指 標	本 会 の 実 績
121	24	27	172	108	25	11	107	251	423	月10件	月35件
28.6%	5.7%	6.4%	40.7%	25.5%	5.9%	2.6%	25.3%	59.3%	100%	-	

コロナ禍のため人と人の結びつきが薄れる中、新たな活動が芽吹いた。およそ交流活動とは縁がなかったコンピュータゲームを介したeスポーツである。令和2年度は中止した「ふれあいフェスティバル」の取組みで、高齢者チーム、児童チーム、施設利用者チームがサーキットゲームでオンライン対戦を行った。介護予防を兼ねたこのゲームは、高齢者の地域サロンで導入され参加意欲の向上に一役買っている。また、ゲームの指導補助は中高生の若年層が担う。介護予防や福祉分野に関わる手段として、大きな可能性を秘めたコミュニケーションツールが加わった。

昨今の生活スタイルの変容に伴い地域との結びつきは薄れている。感染症対策のための「新しい生活様式」であっても、いかに人と人のつながりを切らさない地域づくりを育むことができるか。社会福祉協議会が標榜する「地域福祉を推進する団体」としての役目を果たしていけるか、今こそ問われている。

課 名			総 務 課	
項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
組織経営管理	1	経営組織運営管理	1	評議員会の運営
			2	評議員選任・解任委員会の運営
			3	理事会の運営
			4	監事監査の実施(2回)
	2	社外監査への対応	5	社会福祉法人指導監査
			6	合志市財政援助団体監査
			7	その他事務事業監査
	3	苦情解決体制整備	8	福祉サービス第三者委員の設置
			9	苦情解決責任者、受付窓口の整備
			10	情報公開制度の研究、整備
			11	個人情報保護体制の整備
	4	人事・労務管理業務	12	人事評価制度(処遇改善業務)導入業務
			13	人事管理システム業務
			14	人材交流業務
			15	社会保険労務士による労務指導
			16	市地域包括支援センター出向業務
	5	就業支援業務	17	福利厚生支援業務(健診、被服貸与等)
			18	ヘルスケア推進業務(産業医の設置)
			19	特定求職者就労促進業務
			20	職員研修、資格取得支援業務
			21	職員互助会支援業務
組織経営管理	6	安全管理業務	22	安全運転管理者設置及び安全運転管理推進事業
			23	拠点施設防火管理者の設置、自主防災体制の整備
			24	防犯訓練、防犯設備の整備
	7	財務管理業務	25	経営戦略事業(課長会の実施)
			26	資産管理(償却資産の補修保全)
			27	積立資産管理(投資先選定と果実管理)
			28	公認会計士による会計事務指導(毎月)
	8	事業管理業務	29	予算管理(予算編成と差異分析)
			30	事業計画の策定(事業の統括管理)
			31	施設整備計画の策定
			32	事務事業評価の推進
			33	福祉事業における情報処理技術(ICT)の活用

	9	指定管理施設管理業務	34	合志市保健福祉センターふれあい館指定管理業務
			35	合志市老人憩の家指定管理業務
	10	福祉資金貸付事業	36	生活福祉資金貸付事業(熊本県社会福祉協議会受託業務)
			37	福祉金庫貸付事業

課名			地域福祉課	
項目	幹	施策	枝	事務事業の名称
地域福祉推進事業	11	(福祉課・委) 地域支えあい推進事業	38	地域福祉コーディネーター設置事業(3中学校区) (個別ニーズ調査・情報提供事業)
			39	地域座談会開催、地域状況・課題把握事業
			40	避難行動要支援者システム管理事業
			41	民生委員児童委員協働事業
			42	安心ほっとライン設置推進
			43	各種福祉団体助成事業(9団体)
			44	小規模法人ネットワーク化による協働推進事業
			45	障がい者への理解と啓発事業(レインボーシアター協働)
			46	シニア活動の各種・多方面からの促進(聞き書き等)
災害ボランティアセンター設置事業	12	災害ボランティアセンター設置事業	47	災害ボランティア養成講座
地域福祉財源確保事業	13	地域福祉活動財源推進事業	48	社会福祉協議会会員募集の推進 (一般会員・賛助会員・法人会員)
			49	活動寄付・募金の募集(日赤、共同募金)
			50	共同募金運営委員会・審査委員会の実施
赤い羽根共同募金事業	14	安心生活サポート事業	51	ぽっかぽかサポート個別利用会員登録業務
			52	ぽっかぽかサポート協力会員個人・団体登録推進 (サポーター養成・フォローアップ講座)
			53	ぽっかぽかサポート生活困窮者、(委)高齢者ゴミだし支援事業
			54	ぽっかぽかサポート他事業連携(ファミサポ)
			55	生活支援センターふらっとホーム太陽の運営
赤い羽根共同募金事業	15	ボランティアセンター・活動育成事業	56	ボランティアセンター設置業務
			57	ボランティア体験実習支援
			58	ボランティア活動用品貸し出し業務
			59	視覚障がい者向け情報提供事業 (音声訳CD・再生機器プレクストーク提供)
			60	各種ボランティア養成講座
			61	ボランティアスクール
16	老人福祉活動費	62	地域見守り(歳末)支援事業(民生児童委員との協働)	

介護予防生活支援事業	17 児童・青少年福祉活動	63	小中高生職場体験実習支援
		64	ワークキャンプ事業(小学生)
		65	子育てサロン等地域組織化助成活動
		66	ボランティア協力校推進事業(14校)
		67	オモイカタルバ(青少年ボランティア・居場所づくり)
	18 福祉育成・援助活動事業	68	福祉イベント推進事業(ふれあいフェスティバル等)
		69	地域福祉推進助成事業(ボラ連・民児協)
		70	モデル地区社協組織化活動助成事業(地協)
		71	小地域組織化推進事業(地域支え合い活動)
		72	教育教材の資料作成(365歩の脳活、フレイルキット)
	19 障がい者福祉活動事業	73	障がい児・者共同事業(45番と共同事業)
	20 <高齢者支援課/包括・委> 地域住民グループ支援事業 (サロン事業)	74	地域サロン活動推進・助成事業
		75	サロンボランティア育成・研修事業
		76	独居高齢者等訪問事業(民生児童委員協働)
		77	各種サロン普及事業 (体操サロン・趣味活動サロン 脳活きサロン等)
		78	男の井戸端サロン、木工やろう会、ブレンド珈琲倶楽部協働事業
		79	各種グループ化推進事業
	21 <高齢者支援課/包括・委> 認知症予防 「脳活き生き教室」事業	80	脳活きサポーター・送迎ボランティア養成講座
		81	脳活き生き教室開催・通常版(ふれあい館他)
82		脳活き生き教室開催・地域版(須屋・みどり館・泉ヶ丘)	
83		脳活き生き各種(講話・体力検定・ウォークラリー・青空教室)	
84		認知症予防評価事業(ファイブ・コグ)	
22 <高齢者支援課/包括・委> 認知症地域支援体制構築等 推進事業	85	認知症サポーター・脳ケアルームサポーター養成事業	
	86	認知症理解啓発推進事業(講演会・フォーラム等)	
	87	ささえ愛ネットワーク模擬訓練(徘徊模擬訓練)	
	88	認知症関連地域支援組織化事業 (ささえ愛隊協働・チームオレンジの結成)	
	89	脳ケアルームの開催	
	90	認知症カフェ(ありがとうカフェ)・家族のつどいの開催	
	91	ささえ愛メール配信・LINE配信事業	
	92	認知症地域支援推進員配置(2名)	
23 <高齢者支援課/包括・委> 高齢者介護予防把握事業	93	高齢者把握事業(訪問・専門指導訪問)	
介護予防生活支援事業	24 <高齢者支援課/包括・委> 高齢者の生きがいと健康づくり 推進事業	94	木工教室、フォローアップ講座の開催
		95	男性の料理教室、フォローアップ教室の開催
		96	生きがい特別講座の開催 (例:スマートフォン講座、エンジョイファーム等)
25 地域の絆づくり推進事業	97	シニア活動の各種多方面からの促進(46番の事業を含む)	

	26	(高齢者支援課・委)生活介護支援サポーター養成事業	98	生活・介護支援サポーター養成・登録管理事業
			99	元気応援サポーター養成・登録管理事業
	27	(高齢者支援課・委)家族介護教室	100	家族介護教室事業(スーパー・サポーター認定)
	28	(高齢者支援課・委)生活支援コーディネーター	101	生活支援協議体・生活支援コーディネーター連携(第1層)
			102	生活支援協議体・生活支援コーディネーター連携(第2層)
103			買い物支援(お出かけ応援プロジェクト)	
29	(高齢者支援課/包括・委)地域包括支援センター	104	地域包括支援センターサブセンター運営	
相談体制整備事業	30	(総務課・委)総合相談事業	105	法律・心配ごと相談(みどり館・泉ヶ丘・御代志・ふれあい館)
	31	(福祉課・委)CSW相談事業所拠点整備	106	専門相談会(月1回程度)の実施
広報啓発事業	32	地域福祉広報強化事業	107	ほっとラインの発行(年12回)
			108	ホームページ運営
			109	SNS開設運営(フェイスブック、ツイッター、YouTube)
	33	機動的広報事業	110	出前講座・職員派遣事業(はってん組、各種講座等)
			111	視察研修受入事業
			112	社会福祉関係講習会講師派遣
人材育成事業	34	人材育成事業	113	社会福祉士育成支援事業
			114	教職員福祉体験実習支援事業

課名			こども支援センター	
項目	幹	施策	枝	事務事業の名称
地域子育て支援センター事業	35	子育てに関する相談・援助事業	115	子育てに関する相談職員配置
			116	子育て関連情報提供
	36	子育て親子の交流促進事業	117	親子の集いの場の提供(あかぐみ)
			118	就園前の親子の体験活動(わっこくらぶ)
			119	障がいを持つ親子の支援(おもちゃ図書館)
	37	親子の育ち支援事業	120	同じ悩みをもつ親子の集いの場(ツイズ)
			121	子育てに関する講習会の実施(講演会・離乳食教室)
			122	父親の育児促進
			123	親子の絆づくりプログラム実施(年4回)
	38	地域の子育て力育成事業	124	子育てサロン育成支援
			125	地域の子育て支援者育成(子育てサロン)
			126	子育て交流事業(異世代交流・交流運動会)
児童センター事業	39	児童館設置事業	127	安心な居場所の提供(遊びの場開放・ちょこっとタイム)
			128	定期点検・避難訓練実施

	40	子育てに関する相談・援助事業	129	児童厚生員配置、スキルアップ研修
			130	子育て関連情報提供
			131	関係機関との連携体制
児童センター事業	41	健全育成(個別・集団)事業	132	遊びによる子どもの育成と子育て支援
			133	児童福祉週間特別事業
			134	異世代交流促進事業(クリスマス交流音楽祭 キッズフェス)
			135	ボランティア育成
			136	自然体験・食育活動(どろりんピック どんどや あぐりっこくらぶなど)
	42	体力増進事業	137	体力増進指導の専門員による指導
	43	地域組織化活動育成事業	138	子育てネットワークの構築、子育てサークル育成支援
44	年長児童育成事業	139	地域福祉課連携中高生居場所づくり及び音楽スペース開放	
		140	中高生ワークキャンプ実施	
ファミリーサポートセンター事業	45	アドバイザー設置事業	141	多様化する相談と安全な利用を提供するための職員スキルアップ
			142	相談、会員登録、会員管理、援助活動調整業務
	46	協力会員養成及び育成事業	143	協力会員養成講座・フォローアップ研修実施
			144	事業推進のための会員募集及び啓発・広報活動
			145	会員交流促進(全体・協力会員交流会)
	47	緊急サポート事業(病児・宿泊支援)	146	医療機関との連携体制強化
			147	協力会員育成
病児保育事業	48	病児保育事業(すこやか・ひかり)	148	看護師・保育士配置による保育看護業務
			149	利用登録・広報活動及び定期的職員研修の実施
			150	感染予防・環境整備の実施
			151	医療機関との連携体制整備強化
	49	育児に関する相談・情報提供事業(すこやか・ひかり)	152	定期的健康相談(毎週)と情報提供及びすこやか通信の発行
放課後児童健全育成事業	50	学童保育事業(キッズ・くすの木・ぴーすクラブ)	153	放課後児童支援員配置及び職員研修実施
			154	環境整備・避難訓練実施
	51	発達に応じた育成支援事業	155	自主性、社会性及び創造性の向上と生活習慣確立支援
			156	障がい児支援
			157	保護者・関係機関等との連携体制強化

長期休暇児童預かり事業	52	長期休暇児童預かり事業(なつっこ・ふゆっこ・はるっこくらぶ)	158	児童の健全育成を支援する支援員の確保
			159	学童保育(くすの木クラブ)合同及び南ヶ丘福祉支援センターでの健全育成実施
			160	体験・交流活動促進
ひとり親家庭等日常生活支援事業	53	生活援助・子育て支援事業	161	家庭生活支援員派遣業務
			162	関係機関との連携体制
子育て短期支援事業	54	緊急的な児童預かり支援事業	163	関係機関との連携体制
ふらっとホーム太陽事業	55	地域活動促進事業	164	ボランティア育成、地域交流促進

課名			介護サービス課	
項目	幹	施策	枝	事務事業の名称
通所介護事業	56	(委)総合事業	165	通所型サービスA
			166	通所型サービスC
			167	訪問型サービスC
	57	通所介護事業	168	指定第1号通所事業
			169	指定通所介護事業
			170	基準該当生活介護サービス
訪問介護事業	58	(委)訪問型サービスA業務事業	171	訪問型サービスA支援事業
	59	(委)認知症高齢者家族やすらぎ支援事業	172	認知症高齢者家族やすらぎ支援事業
	60	訪問介護事業	173	指定訪問介護事業
			174	日常生活総合事業
175	有償ホームヘルプサービス事業			
居宅介護事業	61	障がい者訪問支援事業の実施	176	ホームヘルパー派遣事業の実施
			177	重度訪問介護事業の実施
			178	同行援護事業の実施
			179	地域支援事業移動支援事業の実施
訪問看護事業	62	指定訪問看護事業	180	指定訪問看護(介護保険)
			181	指定訪問看護(医療保険)
			182	指定難病医療医療機関
			183	指定小児慢性特定疾病医療機関
			184	指定自立支援(精神通院医療)医療機関
居宅介護支援事業	63	指定居宅介護支援事業	185	指定居宅介護支援事業
			186	指定介護予防支援事業・介護予防ケアマネジメント事業
			187	介護認定訪問調査支援事業
			188	介護保険代行申請事業

	64	福祉用具貸出事業	189	福祉用具貸出事業
--	----	----------	-----	----------

課名			障がい者支援センター	
項目	幹	施策	枝	事務事業の名称
地域活動支援センター	65	創作的活動・生産活動 (自己実現プログラム) (自立支援プログラム)	190	陶芸
			191	農耕活動
			192	手芸・木工クラブ等
	66	社会との交流を促進する活動 (社会参画プログラム)	193	地域イベントへの参加促進
			194	高齢者サロンとの交流事業の開催
	67	地域住民へのボランティアの 育成及び地域啓発活動	195	手話教室の開催
196			広報「レンガだより」の発行	
相談支援	68	指定一般相談支援事業	197	指定一般相談支援事業所(地域移行・地域定着)の設置運営
	69	指定特定相談支援事業	198	障害者相談支援事業所の設置運営
			199	障害児相談支援事業所の設置運営
			200	地域生活支援拠点等整備事業の実施(窓口生活相談センター)
通所支援	70	障がい児通所事業所の設置経営	201	就学前児童発達支援事業の実施
			71	障がい児通所事業所の設置経営
	203	就学期日中一時支援事業		
	72	障がい者通所事業の設置経営	204	指定生活介護事業

課 名			このみ坂保育園	
項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
保育園の経営	73	通常保育事業	205	通常保育事業
			206	異年齢保育事業
			207	入所児体力増進事業
			208	入所児食育推進事業
	74	その他の事業	209	障がい児保育事業
			210	延長保育事業
			211	一時保育事業(自主事業)
			212	休日保育事業
	75	地域子育て拠点事業(ひろば型)	213	家庭的保育を行う者への支援事業
			214	保育所体験交流事業

課 名			生活支援相談センター	
項 目	幹	施 策	枝	事務事業の名称
自立相談支援事業	76	自立相談支援事業	215	窓口及び訪問(アウトリーチ)での相談対応業務
			216	就労準備支援事業(任意事業との連携)、就労支援業務
			217	家計相談支援事業(任意事業との連携)
			218	子どもの学習支援事業(任意事業との連携)
			219	ひきこもり相談支援事業
			220	緊急食糧支援業務
	77		221	アウトリーチ等の充実による自立相談支援機能強化
権利擁護	78	地域福祉権利擁護事業	222	相談支援、支援計画の作成
			223	生活支援員の養成・指導及び監督
			224	福祉サービス利用援助、日常生活金銭管理
	79	法人後見事業	225	適正な後見業務を担保する運営委員会の実施
			226	成年後見人等受任
80	制度外支援	227	制度外支援(死後事務等)の研究	

令和3年度 事業報告書

担 当 課	班
総務課	総務施設班、人事班、経理班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 組織運営状況 (重要事項の決議:理事会、評議員会審議事項、監事監査の実施)

- ・役員の推薦(次期役員候補者の選出(理事10名、監事2名)) ・評議員候補者の推薦
- ・令和2年度事業報告、決算報告 ・令和3年度補正予算の審議(2回)
- ・令和4年度年度事業計画、社会福祉事業会計当初予算の審議
- ・評議員選任・解任委員の選出(外部委員:2名、監事:1名、職員:1名 計4名)
- ・定款の一部改正(法人後見事業の実施)
- ・規則規程(育児・介護休業等に関する規則、嘱託職員就業規則)の改正
(経営適正化の推進:監査、社内経理等事務指導の実施)
- ・監事による監査(年2回) ・公認会計士事務所による事務指導(毎月)

(2) 人事労務状況(法人全体)

・職員数 (数字)は割合

正規職員	嘱託職員	臨時職員	登録職員	合 計
81人(34.9)	40人(17.2)	60人(25.9)	51人(22.0)	232人(100)

・入局及び退職

入 局			退 職		
常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	合計
10人	8人	18人	7人	14人	21人

(3) 財務状況

本業の福祉事業である事業活動収入は、7億3169万6千円。施設整備等収入375万8千円、積立資産取崩収入3千万円を加えた収入総額は、8億0659万円であった。一方、事業活動支出は、7億3169万6千円。固定資産取得費、退職給付引当資産支出等を加えた支出総額は7億8074万円で、差異2585万円の増収。

損益状況(事業活動計算書)では、サービス活動収益対経常増減差額比率はマイナス1.3パーセント(前年度1.6%)で、984万2千円の減益であった。赤字の要因は、会計処理の適正化のため賞与引当金を費用計上したことが影響している。

なお、事業活動収入に占める人件費比率が依然75パーセントを超える状況が続いており、とりわけ他事業所と競合する事業の事業効果や収益状況といった現状分析が必要である。

2 業務を推進していく場合の課題

- (1) 適切な労働時間に基づく労務管理、人事評価制度の試行と並行した賃金体系の検討
- (2) 労働契約法等の改正による非常勤職員の就労体系の見直しと社内規則の整理
- (3) 拠点区分毎の財務管理の体制整備
- (4) 合志市施策との整合性と経営上の影響(活動拠点や施設管理、補助金、委託事業)

3 今後の方向性

福祉業界のみならず、全産業的に人手不足の克服が経営課題となっており、安定的な法人経営を実現するためには、働きやすい職場環境を整え選ばれる組織とならなければならない。「働き方改革」の趣旨を理解し関連する法令への対応と本会の組織状況にあわせた人事制度の構築を今後とも推進していく。

また、法人が行うすべての活動は、多くの公費が充当されており、適正な会計処理を行うとともに内部牽制体制の強化に努めていく。

本会は、介護、障がい、児童福祉関係の制度事業を財源とする収益が大半を占める。新型コロナウイルス感染症がいつ終息するのか見えない中、安定的な収益が確保できるよう環境整備等を行いながら運営を行っていく。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
1-3	理事会、評議員会の運営・実施	継続	独自事業
	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会開催数 4回(5/27、6/25、11/24、3/24) ・評議員選任委員会 2回(6/3、11/30) ・評議員会 3回(6/24、12/7、3/30) (主な協議事項)	根拠法	社会福祉法
	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任 ・令和2年度事業報告、決算報告 ・令和3年度補正予算の審議(2回) ・令和4年度事業計画、社会福祉事業区分予算の審議 ・規則規程(職員給与・退職、就業規則等)の改正ほか ・定款の一部改正(法人後見事業の追加、合志市福祉センターみどり館の管理・経営事業の廃止) 	実施回数	① 理事会 4回 ② 選任委員会 2回 ③ 評議員会 3回
		実施場所	ふれあい館
		定数	① 理事 10人 ② 評議員 15人
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
4	経営適正化推進事業(監事による監査:令和2年度分)	継続	独自事業
	(1) 事業報告書は、関係法令及び通知等に従い法人の事業の執行状況を正しく示しているものと認める。	根拠法	社会福祉法 第45条第18項
	(2) 財産目録は、関係法令及び通知等に従い、法人の財産を正しく示しているものと認める。	実施日時	R3年5月17日 R3年11月16日
	(3) 貸借対照表は、関係法令及び通知等に従い、法人の資産と負債の状況を正しく示しているものと認める。	実施場所	ふれあい館
	(4) 資金収支計算書及び事業活動収支計算書は、関係法令及び通知等に従い、法人の収入と支出、収益と費用の状況を正しく示しているものと認める。	実施機関	本会監事
	(5) 付属明細書は、関連する法令及び通知等に従い、法人の計算書類の明細を正しく示しているものと認める。	人数	2名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
5	社会福祉法人指導監査	継続	その他の事業
	<p>社会福祉法人の適正な運営等を確保するため、監督機関である合志市から、関係法令等に基づく指導監査が定期的に実施されている。</p> <p>本会の一般監査の周期はB区分であり、3年に1回である。</p> <p>前回は、令和元年度に実施されていることから令和3年度は未実施(令和2年度も同様)であった。</p> <p>【参考】合志市指導監査結果ホームページより 未実施については、</p> <p>A:4年又は5年に1回実施のため、未実施 B:3年に1回実施のため、未実施 C:その他の事業により未実施</p>	根拠法	社会福祉法 第56条第1項
		実施日時	未実施
		実施場所	—
		実施機関	合志市
		人数	—

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態						
8-11	苦情解決体制整備	継続	独自事業						
(事業の内容) 社会福祉法の規定に基づき、本会の実施する福祉サービスの提供に対する利用者からの苦情に関する社内体制を整備。		根拠法	社会福祉法						
(業務体制) ・苦情受付担当者：各課の課長 ・苦情解決責任者：事務局長 ・第三者委員：元監事1名、民生委員1名		実績年度	令和3年度 報告を掲載						
(取扱件数) ・苦情、要望受付状況 12件 ・申出人 ①利用者6人、②保護者家族3人、③その他3人 ・内容 施設整備の改善、職員の対応等		対象者	福祉サービス等の 利用者						
		受付件数	12件						
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態						
15	人事・労務管理業務	継続	独自事業						
15 社会保険労務士による労務指導 ・委託業者 有限会社ビジネス・アシスト ・委託内容 ① 労働契約書締結 ② 育児休業に伴う手続き ③ 業務災害の場合の労災保険諸手続き ④ 傷病手当金手続き ⑤ 就業規則の変更、36協定等労働基準監督署への諸届出 ⑥ 助成金・奨励金等の申請 ⑦ 障がい者雇用納付金申請書等の作成		事業費	396千円						
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態						
16	合志市地域包括支援センターへの専門職員の出向	継続	合志市受託事業						
(出向の目的) 保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とする地域包括支援センター「包括的支援事業」の実施に関して、3名の専門職を出向させた。		事業費	16,536千円						
(出向者)		職員数	3名						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>社会福祉士</th> <th>主任介護支援専門員</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1名 (正職)</td> <td>2名 (正職)</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table>		社会福祉士	主任介護支援専門員	合計	1名 (正職)	2名 (正職)	3名	派遣	地域包括センター
社会福祉士	主任介護支援専門員	合計							
1名 (正職)	2名 (正職)	3名							
		拠点	ふれあい館内						

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
17-21	就業支援事業	継続	独自事業								
17	福利厚生支援業務 職員の福利厚生事業として健康診断、ストレスチェック、インフルエンザ予防接種の補助、被服貸与等を実施。	17 事業費	2,639千円								
	・健康診断受診者数 151名	18 事業費	198千円								
	・ストレスチェック 124名										
	・インフルエンザ予防接種 199名	21 事業費	387千円								
18	産業医 公立菊池養生園に委託。										
21	互助会支援事業 福利厚生の一環として職員互助会へ補助を実施。 129名										
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
19	特定求職者就労促進業務	継続	その他の事業								
	(1)高年齢者や障害者等の就職困難者の雇い入れを実施。障害の程度により雇用保険の一般被保険者として雇入れることで助成金の対象。	根拠法	雇用保険法								
	(2)雇用実績	助成金額	120万円								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手帳所持者数</th> <th>ひとり親家庭</th> <th>高年齢者(60歳以上)</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>7</td> <td>51</td> <td>67</td> </tr> </tbody> </table>	手帳所持者数	ひとり親家庭	高年齢者(60歳以上)	合計	9	7	51	67	助成対象事業	障害者雇用調整金
手帳所持者数	ひとり親家庭	高年齢者(60歳以上)	合計								
9	7	51	67								
	(3)障がい者の就労状況	対象者	障がい者 本会での実績								
	①就業場所 ふれあい館の清掃業務	助成金 対象者数	9名								
	③勤務日 月曜日～金曜日 8:00～12:00/13:00～17:00										
	④雇用実績 6名										
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
22-24	安全運転管理者設置及び安全運転管理推進事業 拠点防災管理者の設置・自衛防火・防犯推進事業	継続	独自事業								
22	安全運転管理者設置による安全運転管理推進 正:事務局長 副:安全運転管理者2名を配置 (公用車による事故等の状況)	22 事業費	2万8千円								
	・人身事故・・・0件、物損事故・・・17件(前年度18件)	23 事業費	1万円								
	・安全運転意識向上を目的に所有公用車56台のうち、28台にドライブレコーダーを搭載し、安全運転への意識向上を図った。										
23	防火管理者による自衛防火組織の編成及び日常の防火管理 (総合防災訓練)										
	・指定管理2施設(ふれあい館、老人憩の家)										
	・このみ坂保育園、れんがの家、各事業所で総合防災訓練の実施。										

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																
25	経営戦略事業(管理者会の実施)	継続	独自事業																
(実施日)	毎月第1月曜日	実 施 日	毎月第1月曜日																
(協議内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に対する対応について ・ふれあいフェスティバルの実施否について ・大雨や台風等、災害の恐れがあるときの対応について ・情報公開規程の取扱いについて ・感染症等対策業務継続計画について ・半期業務執行状況及び決算見込状況 ・職員採用計画 ・施設整備計画、職員意向調査ほか、各課懸案事項や事業計画等の協議を実施 																		
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																
28	公認会計士による会計事務指導(毎月)	継続	独自事業																
・委託業者	加久公認会計士事務所	実 施 日	毎月1回																
・委託内容	毎月1回の定期指導、決算事務指導 消費税申告事務ほか	事 業 費	決算前1回 935千円																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																
34	合志市保健福祉センターふれあい館指定管理業務	継続	合志市受託事業																
(事業の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設は平成14年5月、保健センター、子育て支援センター、児童館の複合施設として開館。以来、社協の拠点として介護保険事業、市委託事業、乳幼児健診・がん検診の会場、ボランティアセンター、市民交流の場として総合的な保健・福祉事業を展開。 ・現在、第4期(平成29～令和3年度)の基本協定を合志市と締結。(利用者及び利用料金) 各部屋に使用料が必要。 	営 業 日	事務所機能:無休 ※貸室:火～日																
		営 業 時 間	7:30～20:00																
		休 日	貸室:月曜日 12/29～1/3																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">合志市</th> <th colspan="2">市外</th> <th rowspan="2">免除</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>個人</th> <th>団体</th> <th>個人</th> <th>団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>821</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>31,076</td> <td>31,897</td> </tr> </tbody> </table>	合志市		市外		免除	合計	個人	団体	個人	団体	0	821	0	0	31,076	31,897	対 象 者	合志市民
合志市		市外		免除	合計														
個人	団体	個人	団体																
0	821	0	0	31,076	31,897														
(その他)	<ul style="list-style-type: none"> ・7/9施設設備に落雷あり、8/1停電工事のため休館。 ・新型コロナウイルスまん延防止措置や感染リスクレベルに応じて、利用可能人数の制限、新規利用受付の中止を度々、実施した。 	年 間 利 用 者 数	31,897人																

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																														
35	老人憩の家指定管理業務	継続	合志市受託事業																														
<p>・本施設は平成6年4月開館。平成18年9月より指定管理者制度により本会が管理運営を行う。(それまでは受託事業)</p> <p>・現在、第4期(平成29～33年度)の基本協定を合志市と締結。(利用者及び利用料金)</p> <p>・60歳以上の高齢者 合志市内/100円、市外/400円(実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">合志市</th> <th colspan="2">市外</th> <th rowspan="2">免除</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>個人</th> <th>団体</th> <th>個人</th> <th>団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19,068</td> <td>0</td> <td>43</td> <td>0</td> <td>103</td> <td>19,111</td> </tr> </tbody> </table> <p>(その他)</p> <p>・レジオネラ症防止のための設備改修及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4/1～6/2まで休館。6/3～温泉のみ再開。</p> <p>・7/9隣接のふれあい館に落雷があり、温泉ポンプが故障したため休館。</p> <p>・8/1隣接するふれあい館電気工事で温泉供給できないため、臨時休館。</p> <p>・利用者の要望対し、年末の12/29及び30を開館、サービス向上を図った。</p> <p>・受付ほか、施設管理の一部業務を合志市シルバ人材センターに委託。</p> <p>・温泉水が供給できなくなり、2/24～臨時休館。原因は湯管腐食による温泉ポンプが落下したためであった。</p>		合志市		市外		免除	合計	個人	団体	個人	団体	19,068	0	43	0	103	19,111	営業日	火曜日～日曜日														
合志市		市外		免除	合計																												
個人	団体	個人	団体																														
19,068	0	43	0	103	19,111																												
		営業時間	9:00～12:00 12:30～15:30 16:00～19:00																														
		休日	月曜日 12/29～1/3																														
		対象者	60歳以上の高齢者																														
		年間利用者数	19,111人																														
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																														
36	生活福祉資金貸付事務事業	継続	県社協受託事業																														
<p>(事業の内容)</p> <p>・「生活福祉資金貸付制度」は、低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支え、在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的に実施。(貸付対象)</p> <p>・低所得世帯(市民税非課税程度)、高齢者世帯、障がい者世帯(実績) 上段:相談件数、下段:貸付決定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>母子等</th> <th>障がい</th> <th>失業</th> <th>借金</th> <th>生業</th> <th>低所得</th> <th>不動産担保</th> <th>生活保護</th> <th>コロナ特例貸付</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>481</td> <td>505</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>458</td> <td>458</td> </tr> </tbody> </table> <p>(その他)</p> <p>・コロナウイルス感染症の影響で収入減による「コロナ特例貸付」は令和4年度も継続。</p>		母子等	障がい	失業	借金	生業	低所得	不動産担保	生活保護	コロナ特例貸付	合計	3	7	3	0	0	5	3	3	481	505	0	0	0	0	0	0	0	0	458	458	相談日	月曜～金曜
母子等	障がい	失業	借金	生業	低所得	不動産担保	生活保護	コロナ特例貸付	合計																								
3	7	3	0	0	5	3	3	481	505																								
0	0	0	0	0	0	0	0	458	458																								
		相談時間	8:30～17:30																														
		対象者	低所得世帯 障がい者世帯等																														
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																														
37	福祉金庫貸付事業	継続	独自事業																														
<p>(事業の内容)</p> <p>・本金庫は、生活困窮のため、一時的に借受ける者に貸付け、当該世帯の生活の自立更生を図ることを目的に実施。(貸付対象)</p> <p>・本市に1年以上居住し、生活困窮で一時的に貸付を要する状態にある方。(実績)</p> <p>・令和3年度 1件 (徴収不能)</p> <p>・令和3年度 0件</p>		相談日	月曜～金曜																														
		相談時間	8:30～17:30																														
		対象者	低所得世帯																														
		限度額	10万円																														

令和3年度 事業報告書

担 当 課	班
地域福祉課	地域福祉班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

第3期合志市地域福祉計画活動計画の方針に基づき、重点項目を進めることを目標に以下の5項目をコロナ禍でもできるよう工夫しながら取り組むことができた。

(1) 総合相談体制の連携・強化

新たに高齢者の総合相談の窓口として市地域包括支援センターサブセンターを受託。サブセンターの職員のみならず、課員全員が相談を受け止めるよう心掛け包括支援センター本所との連携強化を図った。コロナ禍で相談件数も増えており、土・日曜に虐待を疑う連絡や緊急訪問依頼など10件の対応を行った。

(2) 地域課題、地域状況、地域資源の把握

各中学校区で地域支え合い活動を進めるため福祉座談会を6回実施することができた。また、高齢者サロンをはじめとする福祉団体等に見守りの一環として生活状況アンケートを依頼し361人が回答、結果として、体重の減少や歩行スピードの低下を感じている人の割合が多かった。前年度は筋力の低下を自覚している回答が多かったが、状況は好転しておらず生活上の困りごととも増加することが懸念される。

(3) 認知症に対する地域住民の理解(共生)と予防強化

ささえ愛ネットワーク(徘徊)模擬訓練を、オンライン配信と実際の訓練を交えたハイブリッド方式で実施した。また、小学校へ認知症の人の気持ちを理解してもらえるよう認知症サポーター養成講座、声掛けのデモンストラーション(劇)や周知啓発用ポスターづくりの協力依頼も行い、訓練当日も参加してもらうことで理解を深めることができたと評価したい。

認知症予防の強化については、軽度認知障害(MCI)の人が通える居場所(脳ケアルーム)を新たに9月から開設し年間を通して実施できた。各教室サポーター(市民)の役割が大きく、本活動が市民の方の認知症に対する理解(共生)につながっていると実感している。さらに自宅でもできる脳トレの教材365歩の脳活第2版を制作し、外出できない方への予防のアプローチも展開した。

(4) 募金活動の見直し・強化

感染予防のため、募金依頼の通知が回覧から各戸配布となったことで、多くの方に募金の使途目的を目にさせていただく機会となった。区長会中止となり、社協また募金活動の説明をする機会を失ったが、各区長へ個別に接点を持ち福祉座談会の参加やぽっかぽかサポート等福祉活動の理解につながった。

(5) 福祉教育の推進

本会の福祉教育プログラムを各学校のボランティア担当教員へ周知したことで、多くの学校からの依頼があり、学校での指導のほかリモートによる授業を実施した。また西合志南中学校からは職場体験の依頼もあり、地域公益活動推進プラットフォーム事業に参画している事業所の協力を得て福祉・介護の職場の魅力を伝えることができた。企業からの福祉体験の依頼も1件あり、次年度以降、継続したいとの声をいただいている。

2 業務を推進していく場合の課題

- ・ 重層的支援体制整備事業への移行準備事業に向けて、本事業内容を関係部署職員が理解し進める必要がある。またこの事業を第4期地域福祉計画、地域福祉活動計画に反映し、市内の各相談窓口や市との連携が重要となる。
- ・ 様々な講座の中で、自宅でも参加できるスタイルの構築を進めているが、機器の使用方法、意欲を引き出すなど高齢者の参加が難しい。また機器の設定や管理にマンパワーが今まで以上に必要である。

3 今後の方向性

- ・ 複雑化・複合化する相談に対して受け止め、解決できるような地域づくりを目指し、様々な関係機関と連動・協働しながら、だれもが参加できる居場所を創造していく。
- ・ 合志市は転入・稼働世帯が増加する見込みでもあるため、小・中・高校等若い世代へサービスマーケティングを軸とした福祉教育プログラムを提案し、全世代が地域課題解決に向けた活動に参加できる仕組みを構築する(ポイント制などの導入検討)。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
38-39	安心生活支え愛事業1:座談会・ニーズ調査等	継続	合志市受託事業
	住み慣れた地域において安心して生活を営むことができるよう、一人暮らし高齢者等への生活支援を目的とした基盤整備を行い、地域で安心して暮らせるための仕組みづくりを実施。中学校区ごとにコーディネーターを配置した。今年度は各中学校区で座談会を開催した。また今年度は、住民のコロナ禍による影響を探るため、サロン参加者等へ生活状況アンケート調査を実施した。 支援を必要とする人とそのニーズを把握する活動 (地域福祉座談会及びコミュニティ会議の実施) ①スクライビングワークショップ(熊本高専学生・教授とのオンラインによる座談会)計20人 ②地域福祉連絡協議会代表者会議(7月27日・3月4日) 述べ参加者 51人 ③ぽっかぽかサポート座談会 ○西合志南中学校区(1回目:9/8 参加者:15人、2回目:3/23 参加者:27人) ○西合志中学校区(1回目:9/15 参加者:14人、2回目:3/24 参加者:13人) ○合志中学校区(1回目:9/29 参加者:37人、2回目:3/25 参加者:23人) (生活課題を抱える人の実態把握)・生活課題調査 合計405件	事業費	3,942千円
		実施日時	通年
		対象者	市民全般
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
40	避難行動要支援者支援システム	継続	合志市受託事業
	災害等や緊急時に情報を関係機関や団体と共有し迅速に支援活動ができるように、住民の声から上がったものを参考に安心ほっとラインのシールのデザイン変更を市の担当と協議を重ね実施できた。職員による訪問と併せ、民生児童委員と連携し、要支援者の情報収集に取り組んだ。運用に際しては市・担当課の福祉課と綿密な連携のもと実施し、今年度は地域包括支援センターサブセンターと連動し、状況から介護保険サービスへつなげるなど、連携をとるケースもあった。 (整備内容) ・要支援者の台帳管理 登録者 1,042 人 ・新規登録者(安心ほっとライン配布) 60 人 ・緊急性が高い要支援者の調査(地震の際の支援者ニーズ調査含む) ・市指定の広域避難所と最寄りの二次避難所に関する調査 ・支援者の登録内容確認 ・安心生活支え愛事業と連動し、基本的な支援ツールとして整備	実施日時	通年
		実施場所	ふれあい館
		対象者	要支援者
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
41	民生委員児童委員協働事業(地域見守り)	継続	独自事業
	例年、75歳以上の一人暮らし高齢者の孤立防止と高齢者同士の交流の場の提供、自立生活の助長の目的にシングルシルバーふれあいの集いを実施している。今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の為、集いを中止し、対象者に対して見守り活動と記念品を持参し、訪問した。 ・東部地区 実施日:10月中、対象者: 209人 ・西部地区 実施日:10月中、対象者: 373人 ・記念品:新型コロナウイルス感染症防止キット(アルコールスプレー・マスク・除菌シート等)※東西同一の記念品	実施日時	東部 10月中 西部 10月中
		実施場所	要支援世帯
		対象者	一人暮らし高齢者 (75歳以上)
		人数	209人(東部) 373人(西部)
		事業費	291千円

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
44	小規模法人のネットワーク化による協働推進事業 (地域公益活動推進プラットフォーム)	新規																					
	福祉分野を中心に、小規模法人を含め様々な地域の事業所同士が、地域貢献のための取り組みを推進できるよう、法人間プラットフォームの構築と重層的な支援体制の構築を図ることを目的とし、定例会議及び協働事業を展開した。 ○参加法人:16法人・団体(社会福祉法人8、医療法人2、独立行政法人3、協同組合1、民間企業(福祉関係)1、行政) ○プラットフォーム会議 計5回 社協各部署間のさらなる横断的連携を図るため、社協内プロジェクトチームも発足し、連携を図った。 ○社協内プロジェクトチーム発足(活動名称:LINK) 協議 計11回	実施日時	左記																				
		対象者	16法人																				
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
44	小規模法人のネットワーク化による協働推進事業2 (地域公益活動推進プラットフォーム)	新規																					
	上記会議内で出たご意見を基に、各事業所と連携を図り協働事業を実施した。	実施日時	左記																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>名称</th> <th>内容</th> <th>参加事業所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学びの場</td> <td>福祉教育 (職場体験)</td> <td>西合志南中学校2年生へ福祉・介護の魅力を伝える</td> <td>6事業所</td> </tr> <tr> <td>学びの場</td> <td>ふれあいフェスティバル2021</td> <td>eスポーツを活用した施設との交流活動</td> <td>2事業所</td> </tr> <tr> <td>つながりと共有の場</td> <td>スクライビングワークショップ</td> <td>熊本高専との協働(学生含)でのワークショップ</td> <td>1事業所</td> </tr> <tr> <td>協働の場</td> <td>フードパントリー</td> <td>フードロス削減者(ひとり親・生活困窮者含)へ食品寄付及び配布活動</td> <td>15事業所</td> </tr> </tbody> </table>	種別	名称	内容	参加事業所	学びの場	福祉教育 (職場体験)	西合志南中学校2年生へ福祉・介護の魅力を伝える	6事業所	学びの場	ふれあいフェスティバル2021	eスポーツを活用した施設との交流活動	2事業所	つながりと共有の場	スクライビングワークショップ	熊本高専との協働(学生含)でのワークショップ	1事業所	協働の場	フードパントリー	フードロス削減者(ひとり親・生活困窮者含)へ食品寄付及び配布活動	15事業所	対象者	
種別	名称	内容	参加事業所																				
学びの場	福祉教育 (職場体験)	西合志南中学校2年生へ福祉・介護の魅力を伝える	6事業所																				
学びの場	ふれあいフェスティバル2021	eスポーツを活用した施設との交流活動	2事業所																				
つながりと共有の場	スクライビングワークショップ	熊本高専との協働(学生含)でのワークショップ	1事業所																				
協働の場	フードパントリー	フードロス削減者(ひとり親・生活困窮者含)へ食品寄付及び配布活動	15事業所																				
		事業費																					
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
43,74	地域福祉推進助成事業	継続	独自事業																				
	地域福祉推進を目的に下記のとおり助成を行った。	実施日時	通年																				
	1 各種福祉団体助成事業 保護司会合志分会、身体障害者福祉協議会、ひとり親家庭福祉協議会、子ども会育成連絡協議会、区長協議会(R3年度申請なし)、障害者親の会(虹の会)、更生保護女性会、民生児童委員協議会、老人クラブ連合会、ボランティア連絡協議会、こども食堂	対象者	各種団体																				
	2 地域福祉連絡協議会 モデル地区5地区(須屋、黒石、中央、野々島、合生地区)																						
	3 サロン推進助成事業 高齢者サロン38団体、子育てサロン7団体、趣味活動サロン6団体																						

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																													
45 73	社会福祉協議会会員募集	継続	独自事業																													
<p>社協会員は、本会の運営のほか地域福祉活動を支えるため、本会の趣旨に賛同した個人・団体により構成され、実績は下記のとおりとなり、一般会員(戸別)の加入率は54.3%(前年比2.0%減)となった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">種別</th> <th>件数</th> <th>実績額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">一般会員</td> <td>普通会員</td> <td>10,979口</td> <td>5,489,500円</td> </tr> <tr> <td>賛助会員</td> <td>161口</td> <td>161,000円</td> </tr> <tr> <td>特別会員</td> <td>3口</td> <td>15,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">法人会員</td> <td>賛助会員</td> <td>62社</td> <td>310,000円</td> </tr> <tr> <td>特別会員</td> <td>29社</td> <td>379,670円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">寄付金扱い</td> <td></td> <td>178,800円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td></td> <td>6,533,970円</td> </tr> </tbody> </table>		種別		件数	実績額	一般会員	普通会員	10,979口	5,489,500円	賛助会員	161口	161,000円	特別会員	3口	15,000円	法人会員	賛助会員	62社	310,000円	特別会員	29社	379,670円	寄付金扱い			178,800円	合計			6,533,970円	募集実績	6,533千円
種別		件数	実績額																													
一般会員	普通会員	10,979口	5,489,500円																													
	賛助会員	161口	161,000円																													
	特別会員	3口	15,000円																													
法人会員	賛助会員	62社	310,000円																													
	特別会員	29社	379,670円																													
寄付金扱い			178,800円																													
合計			6,533,970円																													
		実施日時	7月～9月																													
		対象者	市民及び事業所																													
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																													
46	地域の絆づくり推進事業	継続	独自事業																													
<p>定年退職前後の方を含む高齢者(次世代橋渡し世代)の地域における社会参加の促進。生涯現役で活躍できる仕組みをつくり、地域活動の担い手を確保するとともに健康寿命の延伸を図ることを目的として実施した。</p> <p>① 社会参加入門講座の実施 ② 趣味から地域貢献活動グループ組織化(ブレンド珈琲倶楽部) 14人 活動内容:珈琲講座で習得した淹れ方で、今年度はコロナ禍により地域や社協のイベントで珈琲のもてなし中止。市内事業所との協働で、ブレンド珈琲を作り販売や珈琲農園の見学 阿蘇珈琲ファームの珈琲の樹オーナーとなったため、珈琲農園へ出向き、生育状況の見学や芽摘みを行った。 ③ きずな広場の実施(新開地区): コロナ禍で未開催 ④ あそびの学校(栄地区)実施: コロナ禍で未開催</p>		事業費	生きがいと健康づくりと合算で																													
		実施日時	通年																													
		対象者	市民(シニア世代)																													
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																													
46-②	地域の絆づくり推進事業②	継続	独自事業																													
<p>上記以外の活動も実施。以下掲載。</p> <p>① 各種活動へのマッチング実施 ② 地域ネットワークの構築(生活支援コーディネーターと協働) 常設の活動拠点“つながる”開設(永江団地区:稲岡宅にて) ③ 聞き書き講座 聞き書き講座延べ26人参加、 そのうち、5人が”聞き書きサークルふれあい隊“へ加入、活動を継続予定 ④ 西児童館との共同企画 コロナ禍で未開催</p>		事業費	生きがいと健康づくりと合算で																													

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																						
47	災害ボランティア養成講座(被災者及び避難行動要支援者支援)	継続	独自事業																						
1 災害時ボランティアセンター設置訓練 9月24日(金) 一般市民向け講座/参加 8人 (講義)「災害ボランティア活動と災害ボランティアセンターの役割」社協 「人吉市社協と人吉市災害救援ボランティアやませみとの関係について」人吉市社会福祉協議会 横井 祐一郎 氏 10月20日(水) 職員向け研修の実施 参加職員:17人 10月24日(日) 市総合防災訓練にあわせた設置訓練:展示型による災害ボランティアセンター各ブースの理解と、物資輸送ヘリ到着からの運び出しの活動を実施 場所:合志市栄第2工業団地 参加者:訓練参加者 15人・スタッフ 20人	実施日時	左記記載																							
	実施場所	栄工業団地敷地内																							
	対象者	栄コミュニティ																							
	人数	左記記載																							
	事業費	183千円																							
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																						
48	地域配分事業 障害者福祉活動	継続	共同募金配分金																						
1 おもちゃ図書館 音楽遊び等を通して交流や体験の積み重ね活動を実施した。 実施回数10回、参加者118人(大人34人、子ども84人)、ボランティア数15人 2 視覚障がい者情報提供支援事業(音声訳) 社協だより、市広報、議会だよりを音声ボランティアにより毎月音訳し登録者及び図書館等にCDを置いた。また、合志市ホームページでも視聴できるよう掲載した。登録6人、提供5施設	対象者	市民全般																							
	人数	左記記載																							
	事業費	75千円																							
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																						
49	日本赤十字社会員(協力会員)の募集	継続	その他の事業																						
日本赤十字社は、人々の命と健康を守るために、国境を越えた災害救護活動や血液事業など幅広い活動を展開している。このような活動を支えている会費(活動資金)を募集するために5月を「赤十字運動月間」として、会員及び協力会員募集を、本会が窓口となり業務を行った。		募集実績	5,165千円																						
		実施日時	5月																						
		対象者	市民及び事業所																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>件数</th> <th>実績額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協力会員</td> <td>4,051件</td> <td>2,034,000円</td> </tr> <tr> <td>会員</td> <td>12件</td> <td>32,000円</td> </tr> <tr> <td>法人会員</td> <td>3件</td> <td>30,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">寄付金</td> <td>区</td> <td>19区</td> <td>1,257,000円</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>3,960件</td> <td>1,812,500円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>—</td> <td>5,165,500円</td> </tr> </tbody> </table>		種別	件数	実績額	協力会員	4,051件	2,034,000円	会員	12件	32,000円	法人会員	3件	30,000円	寄付金	区	19区	1,257,000円	個人	3,960件	1,812,500円	合計	—	5,165,500円		
種別	件数	実績額																							
協力会員	4,051件	2,034,000円																							
会員	12件	32,000円																							
法人会員	3件	30,000円																							
寄付金	区	19区	1,257,000円																						
	個人	3,960件	1,812,500円																						
合計	—	5,165,500円																							

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																								
49	赤い羽根共同募金募集事業	継続	その他の事業																								
赤い羽根共同募金の募集を合志市共同募金委員会が実施し、本会が事務対応を行った。本年度は、合志市独自目標額:7,360,000円に対し、96.1%にとどまり、目標には届かなかった。		実施日時	10月～12月																								
		対象者	市民及び事業所																								
		目標額	7,360千円																								
		募金実績	7,073千円																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>募金種別</th> <th>件数</th> <th>実績額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸別募金</td> <td>11,071件</td> <td>5,208,385円</td> </tr> <tr> <td>個人募金</td> <td>4件</td> <td>15,399円</td> </tr> <tr> <td>法人募金</td> <td>178件</td> <td>1,298,670円</td> </tr> <tr> <td>職域募金</td> <td>9件</td> <td>343,078円</td> </tr> <tr> <td>イベント募金</td> <td>4件</td> <td>6,229円</td> </tr> <tr> <td>その他の募金</td> <td>45件</td> <td>201,903円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11,311件</td> <td>7,073,664円</td> </tr> </tbody> </table>		募金種別	件数	実績額	戸別募金	11,071件	5,208,385円	個人募金	4件	15,399円	法人募金	178件	1,298,670円	職域募金	9件	343,078円	イベント募金	4件	6,229円	その他の募金	45件	201,903円	合計	11,311件	7,073,664円		
募金種別	件数	実績額																									
戸別募金	11,071件	5,208,385円																									
個人募金	4件	15,399円																									
法人募金	178件	1,298,670円																									
職域募金	9件	343,078円																									
イベント募金	4件	6,229円																									
その他の募金	45件	201,903円																									
合計	11,311件	7,073,664円																									
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																								
49	ボランティア協力校推進(福祉教育推進)事業	継続	独自事業																								
地域の一員として、福祉課題を感じ、考え学び、相手の立場に立った視点や心を醸成する、また小学生または中学生に対し思いやりの心を育み、「地域で支え合う」ことの重要性を感じ、多様性を認め合う地域の基盤づくり、いわゆる社会的包摂に向けた福祉教育を目的とする。		実施日時	左記記載																								
○小学校…6校(計17回) 延べ1,307人 ○中学校…1校(計4回) 延べ240人 ○高等専門学校・特別支援学校…2校(計4回) 延べ143人		実施場所	各学校																								
※内容については認知症サポーターのみならず、福祉講話や車イスや高齢者疑似体験、コロナを題材とした福祉教育の実施。		対象者	1,690人																								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																								
42 51-52	安心生活支え愛事業3:ぽっかぽかサポート、安心ほっとライン	継続	合志市受託事業																								
基盤支援を必要とする人々がもれなくカバーされる体制について、「安心生活サポート事業」(通称:ぽっかぽかサポート)の運営継続及び団体登録の推進を行った。今年度は本事業のさらなる周知強化のため、パンフレットを作製した。また、緊急時の見守り体制の強化としてひとり暮らしの高齢者等に「命のバトン」(通称:安心ほっとライン)の配布、設置を引き続き行うとともに、年に1回は必ずひとり暮らしの対象者の情報更新も実施した(民生委員児童委員との協働)		事業費	1,825千円																								
・ぽっかぽかサポート登録(令和4年3月末) 利用会員655人 協力会員464人 団体登録13団体 対応件数(チケットベース) 2,819件		実施日時	通年																								
・ぽっかぽかサポート養成講座含む住民説明 : 計4回 32人 ・安心ほっとライン配布・設置(新規+更新)1,042件		対象者	要援護者																								

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
53	安心生活支え愛事業2:ぼっかぼかサポート	継続	合志市受託事業																				
1	ぼっかぼかサポート(生活困窮者対策、他事業連携) ぼっかぼかサポートにおいて、生活困窮者支援として安心サポート合志や他部署と連携を図り活動を展開。	事業費	3,942千円																				
2	ぼっかぼかサポート高齢者ゴミだし支援事業 市環境衛生課からの委託事業により、燃えるゴミ出しの利用料免除による利用会員の負担軽減を実施 実施人数:延べ13人																						
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
55	安心生活支え愛事業4 生活支援センター設置(ふら〜っとホーム太陽)	継続	独自事業																				
	南ヶ丘生活支援センター「ひかり」内に“ふら〜っとホーム太陽”において、相談窓口、また“ぼっかぼかサポート”の地域拠点(出先機関)として、引き続き運営を実施した。具体的には社協地域サポーター(エグゼクティブ・サポーター)リーダーに毎週水曜日 10:00~12:00 まで、地域住民からの様々な相談に応じるというもの。また、担当地区である合志中学校区の“ぼっかぼかサポート”利用会員に対して「お元気コール」と称し、安否確認やお困りごと相談を電話にて行っている。今年度は初めてリーダーとなる所もあり、4月に打ち合わせを行った。	事業費	1,825千円																				
		実施日時	毎週水曜日																				
		実施場所	南ヶ丘生活支援センター「ひかり」																				
	菊池郡市の行政書士会ともタイアップし、毎月第一水曜日には合同で「行政書士による相談日」を開設している。 ・お元気コール 406件 ・社協連携件数 7件 ・行政書士相談 2件	対象者	合志南小・南ヶ丘小校区																				
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
56	ボランティアセンター運営事業 ボランティア普及推進事業	継続	独自事業																				
	ボランティア年間活動実績(登録ボランティアへ任意で活動調査)	実施日時	通年																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回数</th> <th>延べ活動時間</th> <th>延べ参加人数</th> <th>回収数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人</td> <td>1,663回</td> <td>4,099時間</td> <td>13,499人</td> <td>24/63</td> </tr> <tr> <td>団体</td> <td>1,769回</td> <td>15,095時間</td> <td>23,844人</td> <td>67/87</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,432回</td> <td>19,194時間</td> <td>37,343人</td> <td>91/150</td> </tr> </tbody> </table>		回数	延べ活動時間	延べ参加人数	回収数	個人	1,663回	4,099時間	13,499人	24/63	団体	1,769回	15,095時間	23,844人	67/87	計	3,432回	19,194時間	37,343人	91/150	対象者	市民全般
	回数	延べ活動時間	延べ参加人数	回収数																			
個人	1,663回	4,099時間	13,499人	24/63																			
団体	1,769回	15,095時間	23,844人	67/87																			
計	3,432回	19,194時間	37,343人	91/150																			
		人数	1,231人																				
	※団体については、高齢者サロンの見守り活動も回数に含む																						

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態						
56	ボランティアセンター運営事業	継続	独自事業						
1	<p>コーディネーター設置</p> <p>地域のボランティア活動状況などを把握し、活動の継続や発展などを支援する視点でその促進に努めた。また、ボランティア活動に携わる人の知りたいと思っている情報を個別に提供するといった視点からセンター事業を進めるとともに、安心して活動できるようボランティア活動保険の加入促進を実施した。</p> <p>(ボランティアセンター・体験活動情報センター相談件数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 59件(前年度94件) ・調整回数 121回(前年度155回) *コロナ感染症の影響でボランティアの活動場所も減少した 	実施日時	通年						
		実施場所	ふれあい館						
		対象者	市民全般						
		事業費	532千円						
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態						
56	ボランティアセンター運営事業 ボランティア普及推進事業	継続	独自事業						
2	<p>ボランティア地域活動支援</p> <p>(ボランティア登録人数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人登録者 73人(前年度63人) ・団体登録 88団体 1,158人(前年度87団体 1,185人) <p>(ボランティア活動保険加入状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基本プラン</th> <th>天災A</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>804人</td> <td>45人</td> <td>849人</td> </tr> </tbody> </table>	基本プラン	天災A	合計	804人	45人	849人	実施日時	通年
基本プラン	天災A	合計							
804人	45人	849人							
		対象者	市民全般						
		人数	1,231人						
3	<p>機材貸付</p> <p>地域住民が行う福祉活動の円滑な推進と、地域への福祉啓発・広報活動を行うため、活動用品の整備を図り広く貸与を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総貸出件数 8件(体験・地域イベント用具、レクリエーション用品等) 	事業費	532千円						
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態						
68,69 57	ボランティア組織支援事業 福祉イベント推進事業	継続	独自事業						
1	<p>ボランティア連絡協議会</p> <p>多種多様なボランティアが、それぞれの活動分野から一歩前進してお互いに協力、理解、連携しあうために自主的な活動を行う連絡協議会の活動が円滑に行われるよう協力・支援した。</p> <p>役員会:11回</p> <p>開催行事:令和3年7月17日 代表者会議 参加者68人 令和3年10月31日 スポーツ交流会 参加者50人</p>	実施日時	左記記載						
		対象者	市民全般						
		参加者	118人						
2	ふれあいフェスティバル(ボランティア連絡協議会共催)								

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																
59 60	ボランティア養成・送迎ボランティア養成講座	継続	独自事業																
<p>今年度は、音声訳ボランティア養成講座及び生活支援サポーター養成のフォローアップも含め傾聴講座、認知症サポーター養成講座を2部制で実施した。</p> <p>①音声訳ボランティア講座 開催日時:10月9日、16日 参加人数:延べ29人 講師:県点字図書館 宮本千里</p> <p>②音声訳フォローアップ講座 開催日時:10月30日 参加人数:8人 講師:合志市音声訳ボランティアグループこだま 実際の活動を体験してもらい、音声訳を身近に感じてもらったことにより、その後10名が、ボランティアとして加入</p> <p>③1部:傾聴ボランティア養成講座 2部:認知症サポーター養成講座 日時:令和4年1月27日(木) 場所:ふれあい館 参加者:11人 ※コロナまん延のため急遽オンラインのみでの実施 ※送迎サポーター養成講座 今年度中止</p>		実施日時	通年																
		実施場所	養成の内容で決定																
		対象者	市民全般																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																
61 63	福祉教育推進事業(職場体験等受入れ)	継続	独自事業																
<p>自分達が住む地域で暮らしを支える仕事との関わりを通じて、働く喜びや自分自身の生き方を考えるきっかけとして、また「福祉」の仕事へ興味関心を持ってもらうことを目的に職場体験等の受入れを積極的に行った。</p> <p>令和3年度(1校)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:25%;">西合志南中学校</td> <td style="width:15%;">42人</td> <td style="width:60%;">職場体験(市内福祉事業所との協働・福祉の魅力について)</td> </tr> </table>		西合志南中学校	42人	職場体験(市内福祉事業所との協働・福祉の魅力について)	実施日時	左記記載													
西合志南中学校	42人	職場体験(市内福祉事業所との協働・福祉の魅力について)																	
		実施場所	ふれあい館																
		対象者	市内中学生 大学生																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																
64	小中高生ワークキャンプ事業	継続	共同募金配分金																
<p>熊本県にて7、8月に展開されている「ボランティア体験月間」に伴い、福祉やボランティアへの関心を深める体験や講習会を通じて、地域の様々な問題・自分たち自身の問題について考えるきっかけづくりとして児童・生徒を対象とした体験学習を各ボランティア協力校等に参加を呼びかけ開催した。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり3月に実施。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>参加者</th> <th>人数</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3月27日(日)</td> <td>小学生高学年(5校)</td> <td>6人</td> <td>ふれあい館</td> </tr> <tr> <td>コロナの為中止</td> <td>中高校生</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3校</td> <td>6人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		実施日	参加者	人数	場所	3月27日(日)	小学生高学年(5校)	6人	ふれあい館	コロナの為中止	中高校生	-	-	計	3校	6人		実施日時	左記記載
実施日	参加者	人数	場所																
3月27日(日)	小学生高学年(5校)	6人	ふれあい館																
コロナの為中止	中高校生	-	-																
計	3校	6人																	
		実施場所	左記記載																
		対象者	市内小中高校																
		人数	6人																

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態															
62 76	機動的広報事業	継続	独自事業															
1	視察研修受入事業 令和3年度 計2回 人数:計7人 ※内容 ぽっかぽかサポート活動、市内社会福祉法人との連携方法について	実施日時	通年															
		実施場所	ふれあい館他															
2	出前講座・職員派遣事業 令和3年度 計8回 ※出前先:民生委員、自治会、地域福祉連絡協議会、老人会、企業等 内容:認知症サポーター、運動指導、認知症予防、地域福祉、福祉体験についてなど	対象者	県内外															
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態															
66	活動寄付・募金等の募集	継続	独自事業															
	地域福祉活動の財源として寄付金の受入を実施した。なお東京エレクトロン九州(株)からのマッチングギフトによる寄付額は50万円で、本年度までの累計額は5,615,758円となった。	募集実績	5,749千円															
		実施日時	通年															
		対象者	市民及び事業所															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th colspan="2">実績額</th> <th colspan="2">高額寄付</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>香典返し</td> <td>181件</td> <td>3,134,000円</td> <td>4件</td> <td>400,000円</td> </tr> <tr> <td>一般寄付</td> <td>43件</td> <td>515,056円</td> <td>3件</td> <td>1,700,000円</td> </tr> </tbody> </table>	種別	実績額		高額寄付		香典返し	181件	3,134,000円	4件	400,000円	一般寄付	43件	515,056円	3件	1,700,000円		
種別	実績額		高額寄付															
香典返し	181件	3,134,000円	4件	400,000円														
一般寄付	43件	515,056円	3件	1,700,000円														
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態															
67	福祉教育推進事業(中高生居場所づくり)	継続	独自事業															
	将来の社会や合志市の担い手となり得る中高生へ福祉や社会貢献活動等を通じた居場所づくり「オモイカタルバ」を実施した。コロナ禍で学校も休講が相次ぎ、定期的に集まることが出来なかったため、新たに『eスポーツボランティア』を養成し、eスポーツを活用したボランティア活動を開始した。	実施日時	第1土曜															
		実施場所	ふれあい館															
	○ 開設:なし ※新型コロナウイルス感染防止の為 ○ eスポーツボランティア養成講座	対象者	小学高学年～大学生															
	【1日目】健康ゲーム指導士の資格を取ろう 令和3年7月31日(土) 【2日目】ボランティアのい・ろ・は 令和3年9月4日(土) 参加人数:延べ20人 ※ふれあいフェスティバル・合志市eスポーツ大会にてボランティア実施																	

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																
70	地域福祉連絡協議会設置推進	継続	独自事業																																																
<p>地域の福祉課題や福祉活動の状況の把握、行政や各地協間の連携を推進するため、5つの地域福祉連絡協議会の代表者会議を7月と3月に行った。</p> <p>(構成メンバー) 区長、民生委員、老人クラブ、ボランティア、学識経験者等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>須屋</th> <th>黒石</th> <th>中央</th> <th>野々島</th> <th>合生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治会数</td> <td>8区</td> <td>8区</td> <td>8区</td> <td>12区</td> <td>9区</td> </tr> <tr> <td>加入区数</td> <td>7区</td> <td>7区</td> <td>4区</td> <td>12区</td> <td>9区</td> </tr> <tr> <td>会員数</td> <td>87人</td> <td>33人</td> <td>62人</td> <td>42人</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>高齢者サロン</td> <td>7カ所</td> <td>3カ所</td> <td>4カ所</td> <td>4カ所</td> <td>1カ所</td> </tr> <tr> <td>こどもサロン</td> <td>1カ所</td> <td>2カ所</td> <td>1カ所</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>交流会回数</td> <td>4回</td> <td>2回</td> <td>1回</td> <td>2回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>訪問活動</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		項目	須屋	黒石	中央	野々島	合生	自治会数	8区	8区	8区	12区	9区	加入区数	7区	7区	4区	12区	9区	会員数	87人	33人	62人	42人	33人	高齢者サロン	7カ所	3カ所	4カ所	4カ所	1カ所	こどもサロン	1カ所	2カ所	1カ所	—	—	交流会回数	4回	2回	1回	2回	1回	訪問活動	○	○	○	○	○	実施日時	通年
項目	須屋	黒石	中央	野々島	合生																																														
自治会数	8区	8区	8区	12区	9区																																														
加入区数	7区	7区	4区	12区	9区																																														
会員数	87人	33人	62人	42人	33人																																														
高齢者サロン	7カ所	3カ所	4カ所	4カ所	1カ所																																														
こどもサロン	1カ所	2カ所	1カ所	—	—																																														
交流会回数	4回	2回	1回	2回	1回																																														
訪問活動	○	○	○	○	○																																														
		実施場所	各コミュニティセンター																																																
		対象者	市民全般																																																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																
71	小地域ネットワーク	継続	独自事業+委託																																																
<p>(見守りネットワークの状況)</p> <p>住みなれた地域で自立生活を送るためには、地域の福祉問題を解決するためにフォーマル・インフォーマルの資源と連携し活用するネットワークが不可欠になり、近隣住民がボランティア活動を展開していくことが課題となってくる。</p> <p>現在西部地区においては5カ所の地域にて、高齢者やこどもたちのネットワーク活動やボランティア活動を支えるため自主的に組織化している。また東部地区においては地域サロンまたは、ぽっかぽかサポート協力団体等を中心に小地域(行政区)で取り組んでいる。</p>		実施日時	通年																																																
		実施場所	各地協・サロン・行政区等																																																
		対象者	市民全般																																																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																
72	社協オリジナル脳トレ教材「365歩の脳活」製作	新規	独自事業																																																
<p>コロナ禍における認知症予防の取り組みとして、合志の昔話を活用し読み書き・計算・思い出トレーニングができる脳トレ教材「365歩の脳活①」ならびに「365歩の脳活②」を製作した。老人クラブ連合会や地域福祉連絡協議会等、コロナ禍で出来る活動の一つとして教材を活用してもらうよう働きかけた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>実施時期</th> <th>印刷代</th> <th>発行部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>365歩の脳活①</td> <td>令和2年5月～</td> <td>1,000円/冊</td> <td>94冊</td> </tr> <tr> <td>365歩の脳活②</td> <td>令和3年5月～</td> <td>1,000円/冊</td> <td>325冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>対象者 合志市内在住の方 ※期間限定で令和2年度のみ県内在住の方も対象とした 発行部数 419部(令和4年3月末現在)</p>		種類	実施時期	印刷代	発行部数	365歩の脳活①	令和2年5月～	1,000円/冊	94冊	365歩の脳活②	令和3年5月～	1,000円/冊	325冊	実施日時	令和2年5月～																																				
種類	実施時期	印刷代	発行部数																																																
365歩の脳活①	令和2年5月～	1,000円/冊	94冊																																																
365歩の脳活②	令和3年5月～	1,000円/冊	325冊																																																
		対象者	合志市内在住の方																																																
		印刷代	1部1,000円																																																
		発行部数	419部																																																

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																								
74-79	地域住民グループ支援事業	継続	合志市受託事業																								
<p>地域住民と協働し閉じこもりがちな高齢者を対象に参加しやすい地域内の公民館等に「通いの場所」を設置することで、仲間づくりと閉じこもり防止や福祉問題の早期発見につなげるなど介護予防効果と住民同士の交流促進から互いに見守り、支えあえる地域づくりを推進するために実施した。今年度は新たな取り組みとしてeスポーツを取り入れ介護予防を実施。上古閑区・黒石原区の二つの地区サロンでコンピューターゲームを導入したモデル事業を実施した。</p> <p> <input type="checkbox"/>開催カ所数 42カ所 <input type="checkbox"/>開催回数 479回 <input type="checkbox"/>利用者数 6,689人 <input type="checkbox"/>ボランティア 2,651人 <input type="checkbox"/>地域住民等参加者 21人 <input type="checkbox"/>サロン参加者合計 9,361人 ※人数は延べ人数。 <input type="checkbox"/>見守り・訪問回数 13,411回 <input type="checkbox"/>サロン実人数 1,126人 </p>		実施日時	通年																								
		実施場所	各公民館等																								
		対象者	要支援者含む 市民																								
		人数	9,361人																								
		事業費	852千円																								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																								
77	各種サロン普及事業(体操サロン・趣味活動サロン等)	継続	独自事業																								
<p>サロンが休止している地域や通常サロンとは別で1回でも多く外出する機会を増やし交流、介護予防運動をひとつのきっかけとして、地域の集いの場として開催。総合事業や趣味活動サロンへと繋ぎの役目も担うこととして事業を実施した。</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>上須屋いきいき体操サロン</td> <td>上須屋学習センター</td> <td>第1.3水曜</td> <td>2回</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ドレミの会</td> <td>灰塚改善センター</td> <td>月2回</td> <td>30回</td> <td>220人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>上庄ほのぼの健康サロン</td> <td>上庄公民館</td> <td>第1, 3木曜</td> <td>9回</td> <td>141人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>野ばらの会</td> <td>御代志市民センター</td> <td>第3水曜</td> <td>10回</td> <td>101人</td> </tr> </table>		1	上須屋いきいき体操サロン	上須屋学習センター	第1.3水曜	2回	44人	2	ドレミの会	灰塚改善センター	月2回	30回	220人	3	上庄ほのぼの健康サロン	上庄公民館	第1, 3木曜	9回	141人	4	野ばらの会	御代志市民センター	第3水曜	10回	101人	実施日時	左記記載
1	上須屋いきいき体操サロン	上須屋学習センター	第1.3水曜	2回	44人																						
2	ドレミの会	灰塚改善センター	月2回	30回	220人																						
3	上庄ほのぼの健康サロン	上庄公民館	第1, 3木曜	9回	141人																						
4	野ばらの会	御代志市民センター	第3水曜	10回	101人																						
		実施場所	左記記載																								
		対象者	述べ名																								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																								
78	男の井戸端サロン協働事業	継続	合志市受託事業																								
<p>市内在住の概ね60歳以上の男性を対象とし経験や知恵、技を生かして無理なく出来る範囲で楽しく、生きがいを感じるような活動を社協と協働にて行っている。今年度は農園での活動を主とし、感染症対策を取った上での多世代交流や地域活動、会員同士のレクリエーション活動も行った。</p> <p>(活動内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の栽培・販売、農園での交流活動(あぐりっこ・このみ坂保育園・社協デイ) ・定例会(毎月第一金曜日) ・生きがいづくり活動(登山・パークゴルフ・栗拾い等) ・熊本高専との協働企画(熊本高専熊本キャンパス内見学ツアー) <p>(農園交流活動)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農園活動</td> <td>77回</td> <td>678人</td> </tr> <tr> <td>あぐりっこ合同</td> <td>8回</td> <td>76人</td> </tr> <tr> <td>このみ坂保育園合同</td> <td>51回</td> <td>538人</td> </tr> <tr> <td>延べ合計</td> <td>136回</td> <td>1,292人</td> </tr> </tbody> </table>		活動	回数	人数	農園活動	77回	678人	あぐりっこ合同	8回	76人	このみ坂保育園合同	51回	538人	延べ合計	136回	1,292人	実施日時	通年 (毎週火、金 農園活動)									
活動	回数	人数																									
農園活動	77回	678人																									
あぐりっこ合同	8回	76人																									
このみ坂保育園合同	51回	538人																									
延べ合計	136回	1,292人																									
		対象者	シニア世代男性																								
		実施場所	ふれあい館																								
		会員数	14人																								
		実施日時	通年																								

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
81-84	認知症予防事業「脳活き生き教室」	継続	合志市受託事業																				
<p>脳活き生き教室を認知症の予防と学習活動を通じた交流の促進、生きがい作りの場として実施した。また、地域版として脳いきいき教室修了者へ継続的な学習の場を3箇所開設し、地域のより身近な場所で開催する事で、地域で支え合い見守りあえる関係を築くきっかけとなるよう働きかけた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>栄 (通常版)</th> <th>須屋 (地域版)</th> <th>みどり館 (地域版)</th> <th>泉ヶ丘 (地域版)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学習者</td> <td>9人 75人</td> <td>12人 219人</td> <td>14人 205人</td> <td>17人 271人</td> </tr> <tr> <td>サポーター</td> <td>10人 64人</td> <td>13人 135人</td> <td>16人 155人</td> <td>11人 142人</td> </tr> <tr> <td>送迎 サポーター</td> <td>1人 9人</td> <td></td> <td>3人 57人</td> <td>3人 37人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※人数(上段:実人数、下段:延べ人数) コロナの影響で中止、人数制限もあり回数が減ったが、宿題を郵送し対応した。</p>		項目	栄 (通常版)	須屋 (地域版)	みどり館 (地域版)	泉ヶ丘 (地域版)	学習者	9人 75人	12人 219人	14人 205人	17人 271人	サポーター	10人 64人	13人 135人	16人 155人	11人 142人	送迎 サポーター	1人 9人		3人 57人	3人 37人	事業費	2,478千円
項目	栄 (通常版)	須屋 (地域版)	みどり館 (地域版)	泉ヶ丘 (地域版)																			
学習者	9人 75人	12人 219人	14人 205人	17人 271人																			
サポーター	10人 64人	13人 135人	16人 155人	11人 142人																			
送迎 サポーター	1人 9人		3人 57人	3人 37人																			
		実施日時	通年																				
		実施場所	左記記載																				
		対象者	65歳以上の方																				
		人数	1,369人																				
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
89	認知症地域支援体制構築等推進事業「脳ケアルーム」	新規	合志市受託事業																				
<p>コロナ禍において実施不可能な事業が多い中、MCI・認知症初期症状がある方への支援として、週1回の居場所を開催した。趣旨に賛同いただいた特別養護老人ホームの一室を開放してもらい実施する予定であったが、感染拡大が続いたため場所を変更して実施した。</p> <p>【脳ケアルーム】 (日程) 毎週日曜日 10:00~12:00 (場所) ふれあい館 (開催回数) 14回 (メンバー) 延べ64人 (サポーター) 延べ94人</p> <p>【脳ケアルームサポーター養成講座】 (日程) 8月28日(土) (受講人数) 6人 講師:(株)プレイケア 代表取締役 川崎陽一氏</p> <p>【脳ケアルームサポーター定期研修】 (日程) 4/20.5/28.7/1.8/31.11/30.3/12 (受講人数)延べ146人</p>		実施日時	令和2年10月～																				
		対象者	MCI 認知症初期																				
		延べ人数	左記記載																				
		事業費	1,264千円																				
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																				
85	認知症サポーター養成事業「認知症理解啓発、ネットワーク構築」	継続	合志市受託事業																				
<p>認知症高齢者等と家族を支えるため、認知症への対応(予防、早期発見、ケア等)を行うマンパワーや拠点などの「地域資源」をネットワーク化し、相互連携を図りながら有効な支援体制の構築を目的に実施した。</p> <p>【認知症サポーターの養成】 認知症の方との関わり方や、地域の中で認知症の方が穏やかに生活し続けていけるためにできることを考えるきっかけとして、住民・子ども・子育て親子・企業に「にわか劇」や認知症の動画等を用いて実施した。</p> <p>○ 実施回数・養成数/9回・657人</p>		事業費	1,101千円																				
		実施日時	通年																				
		実施場所	公民館 小学校等																				
		対象者	市民全般																				

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
87	認知症地域支援体制構築等推進事業 ささえ愛ネットワーク模擬訓練、家族支援	継続	合志市受託事業
認知症に対する正しい理解を促進し、支援の輪と認知症予防に関する知識の普及を目的に研修会及び家族支援を実施した。医療機関や福祉施設の協力により、医師・看護師・精神保健福祉士等にも参加していただき、身近なところで家族同士の情報交換の場となるつどいを定期的開催した。		事業費	1,264千円
【家族のつどい】 計2回、参加者22人※新型コロナウイルスの影響で1回中止 【認知症カフェ】 計8回、参加者69人、ボランティア5人、スタッフ30人 ※新型コロナウイルスの影響で3回中止 【ささえ愛ネットワーク模擬訓練2021(西合志南小校区)】 12月5日(日) 146名参加 本年度より、実施地区を小学校区と定め、小学校との連携を積極的に行うこととし、福祉教育での認知症サポーター養成講座をはじめ、周知啓発に努めた。参加者をオンライン視聴と会場参加に分け実施した。 商店等への周知啓発、ポスター、ステッカー配布11月5日(金) 計48か所		実施日時	左記記載
		実施場所	ふれあい館 ほか
		対象者	ささえ愛隊 当事者・家族
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
86.88-91	認知症地域支援体制構築等推進事業 認知症の理解啓発推進 支援組織化(ささえ愛隊)	継続	合志市受託事業
養成した認知症サポーターの中から有志で登録をしていただいた方々を「ささえ愛隊」と名付けて、認知症の方を地域で支える活動を行う。 主な活動としては、徘徊行動による行方不明者が出た際にメール配信を活用し、見守り活動を行ってもらった。また、認知症啓発のための活動(事業所への啓発)や学習会・講演会を実施した。		事業費	1,264千円
【学習会、講演会の実施】 ○ サポーター養成講座 9回 参加者 延べ657人 ○ 講演会 9月17日(金)ふれあい館 交流ホール オンライン配信 講師:社旗福祉法人 リデルライトホーム 理事長小笠原 嘉祐氏 45人参加(内33人オンライン受講)		実施日時	左記記載
【ささえ愛隊公式LINE開設】 令和元年度より、ささえ愛隊公式LINEアカウントを開設し不明者情報の発信などに活用している。 ・LINE登録:210件 ・行方不明情報1件発生、その他情報発信1件 ・LINE配信数合計:868件		実施場所	ふれあい館
		対象者	市民全般
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
93	介護予防把握事業	新規	合志市受託事業
要支援・要介護認定を受けていない高齢者に適切な介入及び虚弱状態を早期発見し①要支援等の軽度介護認定者とならないように予防すること②フレイル状態等の軽減・悪化を防止することにより、高齢者が自立した生活を維持できるようにすることを目的とし、各高齢者サロンを対象に実施した。		実施日時	令和3年4月～
【チェックリスト実施数】 地区:10地区 チェックリスト実施数:134人 訪問対象者:79人 訪問実績:58人		対象者	高齢者サロン参加者
		延べ人数	左記記載
		事業費	80千円

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																							
94-96	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	継続	合志市受託事業																							
<p>高齢者がその知識と経験を生かし、希望と能力に応じた生産又は創造的活動に参加することによって、老後の生きがいを高め、その生活を健康で豊かなものにするを目的に実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>講座名</th> <th>協力施設</th> <th>日数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木工教室</td> <td>三つの木の家</td> <td>16日</td> <td>165人</td> </tr> <tr> <td>木工フォローアップ教室</td> <td>三つの木の家</td> <td>4日</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>料理入門講座</td> <td>ふれあい館</td> <td>10日</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td>料理フォローアップ教室</td> <td>ふれあい館</td> <td>2日</td> <td>18人</td> </tr> </tbody> </table>		講座名	協力施設	日数	人数	木工教室	三つの木の家	16日	165人	木工フォローアップ教室	三つの木の家	4日	39人	料理入門講座	ふれあい館	10日	63人	料理フォローアップ教室	ふれあい館	2日	18人	実施日時	6月～3月			
講座名	協力施設	日数	人数																							
木工教室	三つの木の家	16日	165人																							
木工フォローアップ教室	三つの木の家	4日	39人																							
料理入門講座	ふれあい館	10日	63人																							
料理フォローアップ教室	ふれあい館	2日	18人																							
		実施場所	左記記載																							
		対象者	65歳以上の方																							
		人数	285人																							
		事業費	1,229千円																							
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																							
97	各種グループ化推進事業	新規	合志市受託事業																							
<p>高齢者の生きがいと健康づくり推進事業の実施講座から、自主グループ(組織化)に向けて働きかけ、助成または活動支援を行った。</p> <p>① 木工やろう会 参加者数:会員 15人、延べ 92人 活動内容:生きがいの木工製作に励みながら、木工製作で地域に社会貢献をする。社協主催の木工教室での講師補助やテーブルの修理等を施行。</p> <p>② 男の出前キッチン“かせするモン” 参加者数:会員19人、延べ86人 活動内容:料理教室で習った料理を介して、地域でささやかな社会奉仕活動をする。ありがとうカフェでのデザート提供、地元黒大豆を使用した味噌づくり。また、“おうちで料理”と題してそれぞれ家庭で料理を作り、LINEにて紹介した)</p> <p>③ 聞き書きサークルふれあい隊 会員:5人 活動内容:地域の高齢者を語り手に、聞き書き本を製作するボランティア。今年度、地域の3人の高齢者の聞き書き本を作成した。</p>		実施日時	通年																							
		実施場所	ふれあい館																							
		対象者	市民(シニア世代)																							
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																							
98,99	生活・介護支援サポーター養成(入門的研修) ボランティア登録管理 元気応援サポーター養成	継続	合志市受託事業																							
<p>地域の高齢者や障がい者等の生活ニーズに応える仕組みを安定的に持続するため、市民が主体的に運営する新たな住民参加サービス等の担い手としての育成に努めた。受講者にサポーター認定制度を取り入れ、啓発と地域での積極的活動へ促進を図った。また今年度から入門的研修を導入し、受講者を市認定の「元気応援サポーター(訪問型Aサービス活動者)」としての認定・管理登録を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>養成種別</th> <th>受講時間</th> <th>参加人数</th> <th>新規登録人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入門的研修</td> <td>21時間</td> <td>6人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>講座種別</th> <th>認定数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活介護支援サポーター(エグゼクティブサポーター)</td> <td>177人</td> </tr> <tr> <td>介護予防サポーター</td> <td>11人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サポーター種別</th> <th>登録数</th> <th>実働数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ぽっかぽかサポーター</td> <td>89人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>元気応援サポーター</td> <td>18人</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table>		養成種別	受講時間	参加人数	新規登録人数	入門的研修	21時間	6人	1人	講座種別	認定数	生活介護支援サポーター(エグゼクティブサポーター)	177人	介護予防サポーター	11人	サポーター種別	登録数	実働数	ぽっかぽかサポーター	89人	16人	元気応援サポーター	18人	9人	事業費	794千円
養成種別	受講時間	参加人数	新規登録人数																							
入門的研修	21時間	6人	1人																							
講座種別	認定数																									
生活介護支援サポーター(エグゼクティブサポーター)	177人																									
介護予防サポーター	11人																									
サポーター種別	登録数	実働数																								
ぽっかぽかサポーター	89人	16人																								
元気応援サポーター	18人	9人																								
		実施場所	ふれあい館																							
		対象者	一般住民 家族介護者等																							

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																		
100	家族介護者教室	継続	合志市受託事業																		
<p>高齢者を介護している家族等に対し、介護方法や介護予防、また家庭で起こる緊急時の対応や福祉制度等の基礎知識や技術を習得させるための家族介護教室を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>テーマ</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月3日</td> <td>傾聴について</td> <td>14人(内、オンライン:3人)</td> </tr> <tr> <td>8月10日</td> <td>介護不安を解消</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>8月17日</td> <td>栄養と健康づくり</td> <td>7人(内オンライン1人)</td> </tr> <tr> <td>8月24日</td> <td>①救急法講習会 ②ぽっかぽかサポート養成講座</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>R4年 3月5日</td> <td>講演会 村上美香 「命の大切さとコミュニケーション」</td> <td>38人(内オンライン19人)</td> </tr> </tbody> </table>		日程	テーマ	参加者数	8月3日	傾聴について	14人(内、オンライン:3人)	8月10日	介護不安を解消	9人	8月17日	栄養と健康づくり	7人(内オンライン1人)	8月24日	①救急法講習会 ②ぽっかぽかサポート養成講座	9人	R4年 3月5日	講演会 村上美香 「命の大切さとコミュニケーション」	38人(内オンライン19人)	事業費	437千円
日程	テーマ	参加者数																			
8月3日	傾聴について	14人(内、オンライン:3人)																			
8月10日	介護不安を解消	9人																			
8月17日	栄養と健康づくり	7人(内オンライン1人)																			
8月24日	①救急法講習会 ②ぽっかぽかサポート養成講座	9人																			
R4年 3月5日	講演会 村上美香 「命の大切さとコミュニケーション」	38人(内オンライン19人)																			
		実施場所	ふれあい館																		
		対象者	介護者・一般																		
		人数	延べ77人																		
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																		
101- 102	生活支援体制整備事業	継続	合志市受託事業																		
<p>○協議体の開催 本年度はコロナ禍におけるつながりづくり、また買い物支援について、アイデアを出し合い協議を行った。本会:3回(参加者延べ54人)分科会:4回(延べ35人)</p> <p>○こうしぼちぼち元気ポイント制度 健康づくり、元気づくりの活動を登録し、週1回以上の通いの場創設を促す。今年度は新規5団体の登録があった。参加団体:10団体 登録者数:223人</p> <p>○地域げんきフォーラムの開催 「つながりづくり」「おでかけ応援プロジェクト」をテーマに実施。他市町村のコロナ禍におけるつながりづくりの取り組みを聴き、また合志市での実践を聴くことで、各サロンや老人クラブ等の活動の活性化を図ることを目的に実施。 会場参加24名 オンライン参加12人 計36人</p>		実施日時	通年																		
		対象者	市民及び事業所																		
		事業費	70千円																		
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																		
103	移動販売(おでかけ応援プロジェクト)	新規	独自事業																		
<p>行政、企業との連携、ご協力いただきながら「買い物までの店が遠い」「車の運転には不安がある」「でも、買い物は自分の目で見て買いたい」など買い物にお悩みを感じている方への、買い物支援・閉じこもり予防・繋がりづくりを目的に移動販売を実施</p> <p>・運行ルート:南部ルート(泉ヶ丘市民センター・西須屋団地公民館・南陽公民館・須屋市民センター)</p> <p>・運行回数:31回 ※悪天候により1回中止</p> <p>・延べ利用者数:1,535人</p>		実施日時	毎月第2・4金曜日																		
		対象者	市民全般																		

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																																								
104	地域包括支援センターサブセンター	継 続	合志市受託事業																																																																								
<p>今年度ランチからサブセンターへ昇格し委託を受けた。相談とともに総合事業、要支援者のプラン作成にもあたり担当した。電話、窓口での相談も昨年と比べ増えてきている。土日の対応も年間10件ほどあった。</p> <p>【年間相談件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>訪問</th> <th>来所</th> <th>電話</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上半期(件)</td> <td>231</td> <td>168</td> <td>674</td> </tr> <tr> <td>下半期(件)</td> <td>380</td> <td>82</td> <td>1088</td> </tr> </tbody> </table> <p>【事業種別】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">総合事業</th> <th colspan="2">介護保険</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>通所A</th> <th>通所C</th> <th>訪問A</th> <th>訪問C</th> <th>要支援1</th> <th>要支援2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>15</td> <td>22</td> <td>46</td> </tr> </tbody> </table>			訪問	来所	電話	上半期(件)	231	168	674	下半期(件)	380	82	1088	総合事業				介護保険		合計	通所A	通所C	訪問A	訪問C	要支援1	要支援2	5	2	1	1	15	22	46	実施日時	月～金																																								
	訪問	来所	電話																																																																								
上半期(件)	231	168	674																																																																								
下半期(件)	380	82	1088																																																																								
総合事業				介護保険		合計																																																																					
通所A	通所C	訪問A	訪問C	要支援1	要支援2																																																																						
5	2	1	1	15	22	46																																																																					
		対 象 者	高齢者																																																																								
		件 数	2,623件																																																																								
		事 業 費	407千円																																																																								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																																								
105	法律行政相談事業	継 続	合志市受託事業																																																																								
<p>地域住民の日常生活上の様々な悩みや相談に応じ、適切な助言、援助を行い、地域住民の福祉の増進を目的に「法律行政心配ごと相談所」を開設した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>相談項目</th> <th>件数</th> <th>割合</th> <th>相談項目</th> <th>件数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 近隣トラブル</td> <td>10件</td> <td>4.3%</td> <td>9 人権</td> <td>1件</td> <td>0.6%</td> </tr> <tr> <td>2 家庭内トラブル</td> <td>7</td> <td>3.7%</td> <td>10 労働問題</td> <td>2件</td> <td>1.2%</td> </tr> <tr> <td>3 離婚</td> <td>16</td> <td>9.9%</td> <td>11 生活困窮</td> <td>0件</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>4 相続</td> <td>51</td> <td>32.1%</td> <td>12 福祉・教育</td> <td>2件</td> <td>1.2%</td> </tr> <tr> <td>5 借金</td> <td>12件</td> <td>7.4%</td> <td>13 暴力・虐待</td> <td>2件</td> <td>1.2%</td> </tr> <tr> <td>6 不動産</td> <td>29件</td> <td>18.5%</td> <td>14 行政施策</td> <td>5件</td> <td>3.1%</td> </tr> <tr> <td>7 交通事故</td> <td>3件</td> <td>2.5%</td> <td>15 悩みごと</td> <td>6件</td> <td>3.7%</td> </tr> <tr> <td>8 医療トラブル</td> <td>1件</td> <td>0.6%</td> <td>16 その他</td> <td>16件</td> <td>9.9%</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>合計</td> <td>163件</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>会場別人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>会 場</th> <th>御代志 市民センター</th> <th>みどり館</th> <th>泉ヶ丘 市民センター</th> <th>ふれあい館</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談者数</td> <td>75人</td> <td>68人</td> <td>27人</td> <td>41人</td> <td>211人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※人数には同行者を含む</p>		相談項目	件数	割合	相談項目	件数	割合	1 近隣トラブル	10件	4.3%	9 人権	1件	0.6%	2 家庭内トラブル	7	3.7%	10 労働問題	2件	1.2%	3 離婚	16	9.9%	11 生活困窮	0件	0%	4 相続	51	32.1%	12 福祉・教育	2件	1.2%	5 借金	12件	7.4%	13 暴力・虐待	2件	1.2%	6 不動産	29件	18.5%	14 行政施策	5件	3.1%	7 交通事故	3件	2.5%	15 悩みごと	6件	3.7%	8 医療トラブル	1件	0.6%	16 その他	16件	9.9%	-	-	-	合計	163件	-	会 場	御代志 市民センター	みどり館	泉ヶ丘 市民センター	ふれあい館	合計	相談者数	75人	68人	27人	41人	211人	実施日時	毎月3回 1日、10日、20日
相談項目	件数	割合	相談項目	件数	割合																																																																						
1 近隣トラブル	10件	4.3%	9 人権	1件	0.6%																																																																						
2 家庭内トラブル	7	3.7%	10 労働問題	2件	1.2%																																																																						
3 離婚	16	9.9%	11 生活困窮	0件	0%																																																																						
4 相続	51	32.1%	12 福祉・教育	2件	1.2%																																																																						
5 借金	12件	7.4%	13 暴力・虐待	2件	1.2%																																																																						
6 不動産	29件	18.5%	14 行政施策	5件	3.1%																																																																						
7 交通事故	3件	2.5%	15 悩みごと	6件	3.7%																																																																						
8 医療トラブル	1件	0.6%	16 その他	16件	9.9%																																																																						
-	-	-	合計	163件	-																																																																						
会 場	御代志 市民センター	みどり館	泉ヶ丘 市民センター	ふれあい館	合計																																																																						
相談者数	75人	68人	27人	41人	211人																																																																						
		対 象 者	市民全般																																																																								
		件 数	163件																																																																								
		事 業 費	769千円																																																																								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																																								
106	専門相談	継 続	合志市受託事業																																																																								
<p>地域住民のニーズをいち早くキャッチし、多様な相談内容に対応するために、旧西合志地区の各市民センターや施設を利用し、地域特性に応じた相談内容として、各種団体や関係機関との協力・連携を深めることで地域住民の安心へと取り組んでいく相談支援を実施した。</p> <p>日程:毎月第3木曜日 場所:御代志市民センター 内容:終活、成年後見、年金(障がい年金) 相談所開設回数:7回 相談件数:4件(内訳:終活 2件・成年後見 1件・年金 1件)</p>		事 業 費	1,825千円																																																																								
		実施日時	通年																																																																								
		対 象 者	市民全般																																																																								

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態												
107-109	地域福祉広報強化推進事業	継続	独自事業												
	<p>地域福祉及びボランティア活動の情報を発信し関心ときっかけづくりに努めた。コロナ禍において、インターネット・SNS等の利用者も増加傾向にあったため、特にYouTubeやTwitterを活用し情報発信を行った。</p> <p>住民参加型の支援・サービスへの取り組みだけでなく、各相談拠点の紹介等を重点に行った。</p> <p>1 ほっとラインの発行 (ア) 毎月12回発行、各区長便を通じて配布、総発行283, 320部 ※ ホームページ、フェイスブック、ツイッターは随時更新・発信 (イ) インターネット・SNS、YouTubeによる法人紹介と事業等の情報をリアルタイム発信、行事の募集や報告にも活用。ホームページ閲覧件数: 81,545件 発信件数: Twitter:154件 Facebook:151件 YouTube:46件</p> <p>2 種別広報 (ア) ふれあいサロン情報等の種別広報発行(月1回) (イ) ファンクショナル(実用的な)広報のあり方掲示板へのチラシ掲載 広報誌のテーマは時流に合わせて検討した。</p>	実施日時	通年												
		対象者	市民全般												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態												
110 112	地域配分事業 老人福祉活動事業(歳末助け合い事業)	継続	共同募金配分金												
	<p>歳末たすけあい運動の一環として、民生委員・ボランティア協力校、地区の子ども会などの参加・協力のもと、80歳以上一人暮らし高齢者等444人を対象に年末の防災・防犯の声掛けと共に小学生からのメッセージカードや記念品を持参し、訪問した。</p> <p>○対象者:80歳以上一人暮らし高齢者等 ○対象者人数:444人(西部:265人、東部179人) ○記念品:①元気応援カレンダー ②ご縁はがき(メッセージカードを書いた児童に返信するはがき)</p> <p>簡単な体操を掲載したオリジナルカレンダーを作成・配布し、自宅での介護予防に取り組んでもらった。また、コロナ禍で児童との交流が減少したため、はがきでの交流・つながりづくりを行った。</p>	実施日時	12月												
		実施場所	要支援世帯												
		対象者	80歳以上 独居高齢者等												
		人数	444人												
		事業費	200千円												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態												
113 114	人材育成支援事業(福祉人材育成)	継続	独自事業												
	<p>社会福祉士や介護福祉士の資格取得のため、またボランティア体験等を通じ、福祉の仕事に対するやりがいや関心を高めてもらう、福祉人材育成の推進を行った。</p> <p>令和3年度実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校・:体験名等</th> <th>人数</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>熊本学園大学</td> <td>3人</td> <td>社会福祉士</td> </tr> <tr> <td>九州保健福祉大学</td> <td>1人</td> <td>社会福祉士</td> </tr> <tr> <td>西合志南中学校</td> <td>42人</td> <td>職場体験(福祉体験)</td> </tr> </tbody> </table>	学校・:体験名等	人数	内容	熊本学園大学	3人	社会福祉士	九州保健福祉大学	1人	社会福祉士	西合志南中学校	42人	職場体験(福祉体験)	実施日時	左記記載
学校・:体験名等	人数	内容													
熊本学園大学	3人	社会福祉士													
九州保健福祉大学	1人	社会福祉士													
西合志南中学校	42人	職場体験(福祉体験)													
		実施場所	ふれあい館												
		対象者	左記												

令和3年度 事業報告書

担 当 課	班
こども支援センター	こども支援センター班

<p>1 本年度に取り組んだ業務の主な成果</p> <p>子育てと仕事の両立で保育が必要な家庭、家庭保育やひとり親家庭などの子育てニーズに対応できるように子育て支援事業に取り組んだ。</p> <p>(1) 地域子育て支援センター コロナ禍で「行く場所がない」、「人と話すことが減った」という声が多く聞かれる。そこで、情報交換しやすい環境、育児の不安軽減や孤立感解消につながるように新たに“LINE”を活用した情報発信に取り組んだ。子育てに対する啓発も進み父親の参加も多くみられた。事業の実施に際しては、人数の制限、合志市内のみの参加にするなど、感染対策に取り組みながら事業が継続できるよう努めた。</p> <p>(2) 児童館 新型コロナの県リスクレベルや感染者数、ふれあい館が複合施設である事も考慮した上で利用基準を定めた。来館者の困り事や悩みには課内で協議しながら対応し、課内の他の子育て関連事業の利用や情報共有がはかれた。イベント内容は、YouTubeで動画の配信に挑戦し、事業内容を周知することができた。</p> <p>(3) 放課後児童健全育成事業 まん延防止等重点措置期間中は、利用自粛や臨時休業等により放課後児童クラブの利用を控える保護者負担を軽減するため利用料の減免を実施した。環境整備を行い、パーテーション、空気清浄機の設置手洗い、マスクの着用、手指消毒の指導を行い、衛生管理を徹底し児童の健康管理に努めた。また、濃厚接触となりしばらく休んだ児童には、保護者、児童と連絡を密に行い不安解消につながるように支援を行った。</p> <p>(4) 病児・病後児保育 病児の受入れに際しては、市、嘱託医に相談、報告、他施設と情報交換をしながら総合的に判断して受入れの可否を決定した。1人一部屋(個別対応)の制限を実施し、感染拡大防止に取り組んだ。 感染予防対策の徹底及び強化として保護メガネの購入やオゾン発生器を設置。また、保育環境を整え保育の統一や知識・技術の向上に努めた。</p> <p>(5) ファミリーサポート事業 感染対策に取り組みながら、養成講座、フォローアップ講座を開催した。多胎児支援(沐浴・家事支援等)のニーズもあり、「多胎児の育児を支えるために」講義内容を追加した。3密を防ぐためにミニ交流会の回数を増やしたところ、その呼びかけに新規会員が増え、また、活動休止していた会員の再活動につながるなどの効果があった。また、ひとり親家庭や障がい児の支援など多様なニーズにも対応できる協力会員の発掘を行ったところ、若干名の協力申し出があった。</p> <p>(6) 長期休暇等児童預かり事業 コロナ禍で利用者は減少したものの、南ヶ丘福祉支援センターで夏休みだけでなく春休みの受け入れを実施し利用者の利便性向上に努めた。</p>
<p>2 業務を推進していく場合の課題</p> <p>(1) コロナ禍での事業の実施・延期・中止の判断基準 (2) 子育て家庭が抱える多様なニーズ相談業務に対応できる専門的知識の習得及び職員の技術の向上</p>
<p>3 今後の方向性</p> <p>(1) 全ての利用者に寄り添った支援、安心した環境を提供し子どもたちのすこやかな育ちを支える。 (2) 子どもの心情や家庭環境を把握し、受容と共感しながら育成支援及び親育てにあたる。 (3) 発達に障がいを抱える児童への理解と関わり方の統一を図る。 (4) 他部署や地域との連携を図りながら交流事業を実施する。</p>

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
125 126	子育て広報促進事業(相談含む)	継続	合志市受託事業										
(事業の内容、実績) 育児不安などの身近な相談の窓口として、登録、受付、相談コーナーを設置し、情報提供するとともに情報誌の発行を行った。 合志市保健師の赤ちゃん訪問事業と連携し、こども支援センター事業の一覧チラシ配布を行った。母子手帳配布の際、あそびのへや・BPプログラムのチラシを配布し妊婦さんへの周知促進を図った。今年度こども支援センターのLINEを開設し利用者への登録を促し情報提供を行った。 <実績数> ・こども支援センターだより・ほっとライン・・・毎月1回発行 ・ホームページ 常時掲載・更新 ・こども支援センターチラシ配布 毎回赤ちゃん訪問 ・LINE配信 イベント開催や募集時 <相談実績数> ・来所相談、コーディネート 2,831件 ・電話 814件		事業費	地域子育て支援事業 8,867千円										
		実施日時	月～土										
		実施場所	ふれあい館										
		対象者	妊婦、子育て世帯										
		人数	相談数3,645件										
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
127	あそびのへや(0歳)	継続	合志市受託事業										
(事業の内容、実績) 同年齢の子どもを持つ親子の集まる場をつくり、育児力を育てることを目的に育児相談や情報交換、育児援助を行った。年齢ごとに開催することで、子育ての悩みも共有しやすく、悩みや不安の軽減につながっている。また年3回、あかぐみ開催日時の中で、離乳食教室を開催。管理栄養士に直接相談を持てる場を設け、離乳食についてアドバイスを受け、月齢の近い親子で情報共有を行った。 <利用実績> <table border="1" data-bbox="188 1220 981 1310"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施日</th> <th>実施回数</th> <th>保護者</th> <th>こども</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あか組(0歳)</td> <td>毎週水曜日</td> <td>45回</td> <td>585名</td> <td>576名</td> </tr> </tbody> </table> ○離乳食教室 ・参加者数 保護者 57名、子ども 55名、その他 3名		区分	実施日	実施回数	保護者	こども	あか組(0歳)	毎週水曜日	45回	585名	576名	事業費	地域子育て支援事業
		区分	実施日	実施回数	保護者	こども							
		あか組(0歳)	毎週水曜日	45回	585名	576名							
		実施日時	毎週水曜 10時30分～11時30分										
		実施場所	ふれあい館										
対象者	0歳												
人数	自由参加 参加総数1,161名												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
128	子育て社会体験事業	継続	独自事業										
(事業の内容及び実績) 就園前の子どもとその親が、公共の場所への外出などを通して、集団の中での様々な経験や自然体験をすることで社会性や感性を育てることを目的に実施した。 ○わっこくらぶ野外活動 ・実施回数 1回 ・参加者数 保護者 12名、こども 15名		事業費	地域子育て支援事業										
		実施日時	随時										
		実施場所	オオヤブファーム										
		対象者	就園前の親子										
		人数	参加者総数27名										

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																															
128	わっこくらぶ	継続	合志市受託事業																															
<p>(事業の内容、実績)</p> <p>親子の集まりを毎週実施し、家庭保育中の親子の閉じこもりを予防、保護者のつながりができるようなきっかけづくり、育児相談、地域の子育て関連の情報提供などを行った。コロナウイルス感染防止に配慮し、毎回15組程度の受け入れとし、安全、安心して参加する中で、季節に合わせた様々な体験や音楽あそび、発達に応じた運動遊びなどができるように活動を行った。</p> <p><利用実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 43回 ・参加人数 保護者 528名 こども 666名 講師 1名 		事業費	地域子育て支援事業																															
		実施日時	毎週木曜日																															
		実施場所	ふれあい館																															
		対象者	就園前の親子																															
		人数	登録あり自由参加 参加総数 1,195名																															
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																															
128 135	地域子育て文化交流事業	継続	独自事業																															
<p>(事業の内容、実績)</p> <p>乳幼児を持つ親子が気軽に音楽に触れる機会や、文化的体験に参加して子育ての負担感をなくし子どもと一緒に楽しむ機会を地域住民の協力により実施した。一部新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度は中止した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>回数</th> <th>保護者</th> <th>こども</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリスマス交流音楽祭</td> <td colspan="4">コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</td> </tr> <tr> <td>音楽会</td> <td>1</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>もちつき</td> <td colspan="4">コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</td> </tr> <tr> <td>ミュージックケア</td> <td>3</td> <td>32</td> <td>40</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>おはなし会</td> <td colspan="4" rowspan="2">コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</td> </tr> <tr> <td>茶話会</td> </tr> </tbody> </table>		内容	回数	保護者	こども	合計	クリスマス交流音楽祭	コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				音楽会	1	9	11	20	もちつき	コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				ミュージックケア	3	32	40	72	おはなし会	コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				茶話会	事業費	地域子育て支援事業 共同募金 他
内容	回数	保護者	こども	合計																														
クリスマス交流音楽祭	コロナウイルス感染症拡大防止のため中止																																	
音楽会	1	9	11	20																														
もちつき	コロナウイルス感染症拡大防止のため中止																																	
ミュージックケア	3	32	40	72																														
おはなし会	コロナウイルス感染症拡大防止のため中止																																	
茶話会																																		
		実施回数	4回																															
		実施場所	ふれあい館																															
		対象者	就園前の親子																															
		延利用数	92名																															
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																															
129	障がいをもつこどもの支援	継続	共同募金配分金																															
<p>(事業の内容、実績)</p> <p>発達に心配のある児童が、音楽や遊び(運動・おもちゃ)を通して心の安定をはかり、身体機能の発達を促すと共に、仲間との関係づくりを行っていくことや同じ悩みを持つ親同士の情報交換、学習会の場を目的に実施した。専門知識を持ったボランティアの協力を得ながら取り組み、療育への足がかりとなるように実施した。新規利用者も増え、更なる感染症対策として、消毒の徹底を図った。</p> <p>○おもちゃ図書館ちゃちゃちゃ 実施回数 10回・保護者34名・子ども84名・ボランティアその他 25名</p> <p>○ひかりの会(障がい児の親のサロン)・実施回数 5回 参加人数 保護者30名 こども 0名 その他(講師・一般)5名</p>		事業費	障害者福祉活動費																															
		実施日時	毎月第3土曜日 年間計画による																															
		実施場所	ふれあい館																															
		対象者	障がいもつ子どもと 保護者																															
		人数	178名																															

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
129	おもちゃ図書館ひかり(新規)	継続	独自事業
(事業の内容、実績) 障害の有る無しに関わらず、親子でたくさんのおもちゃの中から、自分の好きなおもちゃを選び自由に遊んだり、親子で絵本を読んだりする場及びふれあい館まで来れない家庭への拠点となるように実施した。 実施回数 6回 ・保護者16名 子ども16名		事業費	地域子育て支援事業
		実施日時	毎月第4月曜日 年間計画による
		実施場所	南ヶ丘福祉支援センター
		対象者	就園前親子
		人数	32名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
129	にこにこツインズ(ふたごちゃんのつどい)	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 同じ悩みをもつ家族同士の集いの場を提供し、仲間づくりや情報交換をしながら、育児不安を解消する力を育むことを目的に開催した。 参加者が少ない時には以前参加されていた方にツインズ先輩ママとして協力を得て実施した。妊娠中の方の参加もあり、会を通してタイムリーな情報を得る事で多胎児育児のコツを知ったり、多胎児に特化した悩みや大変さ、子育ての喜びを共有したりする中で原動力となり、同じ境遇の方との繋がりが作りのきっかけとなった。 コロナの影響で今年もボランティアの協力を見合わせ、職員で対応したが、ボランティアを希望される方もいた。 <利用実績> 実施回数 5回 参加人数 保護者 12名 こども 20名 ボランティア 0名		事業費	地域子育て支援事業
		実施日時	原則奇数月 第2月曜日10時半～
		実施場所	ふれあい館
		対象者	多胎児をもつ保護者 (妊婦も含む)
		人数	32名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
130 131	講習会の実施	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 育児不安の解消や親子の愛着を深めることを目的に各種講習や年齢に合わせた保育講座を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。		事業費	地域子育て支援事業
		実施日時	未実施
		実施場所	ふれあい館
		対象者	各時期にあった親子 とボランティア
		人数	名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																
132	BP(親子の絆づくりプログラム事業)	継続	合志市受託事業																																																
(事業の内容、実績) 初めて子育てをする親子が集まり、育児の喜びや困りごと、親としての迷いなどを話し合いながら、親育ちのプログラムにより0歳時期に知っておきたい子育てについて必要な知識を学び、自分にあった子育てについて考え、悩みの解決・まわりの助けを得ることに気づくことにつなげた。また、あかぐみへの参加につながった。周知には、2ヶ月訪問時に市役所保健師に協力得て、チラシの配布を行うことができた。また、市内小児科での配布掲示を依頼した。コロナウイルス感染拡大防止のため、5月・9月は定員を8組とし、1月は定員を12組に限定して実施した。		事業費	地域子育て支援事業																																																
		実施日時	年3回(5/9/1月)																																																
		実施場所	ふれあい館																																																
		対象者	2~5ヵ月までの親子 1回8~12組																																																
		参加者数	202名																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>5月</th> <th>9月</th> <th>1月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催日数</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>子ども</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table>					5月	9月	1月	開催日数	4回	4回	4回	保護者	31	31	39	子ども	31	31	39																																
	5月	9月	1月																																																
開催日数	4回	4回	4回																																																
保護者	31	31	39																																																
子ども	31	31	39																																																
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																
133	子育てサロン事業	継続	その他の事業																																																
(事業の内容、実績) 地域のボランティア、民生委員の方が中心となり、支えあい安心して子育てができるような地域を目指して開催した。最近では、地域とつながりを持ちたい保護者も増加傾向にあり、サロン参加者が就園後にボランティアとしての活動の場につながっている。 <利用実績>感染拡大防止のため活動自粛するサロンもあった。		事業費	各サロンの助成金 270,180円(共同募金)																																																
		実施日時	月1回程度、7か所																																																
		実施場所	公民館等																																																
		対象者	就園前の親子																																																
		延利用人数	609名																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>サロン名</th> <th>回数</th> <th>保護者</th> <th>子ども</th> <th>ボランティア</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ぱおぞう(笹原)</td> <td>4</td> <td>15</td> <td>17</td> <td>8</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>ひよこサロン(東須屋)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>コアラサロン(武蔵野台)</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>23</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>サロン愛(南須屋)</td> <td>4</td> <td>21</td> <td>26</td> <td>15</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>パンダサロン(杉並台)</td> <td>5</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>こぐまサロン(新開)</td> <td>9</td> <td>63</td> <td>79</td> <td>55</td> <td>197</td> </tr> <tr> <td>めだかサロン(若原)</td> <td>9</td> <td>50</td> <td>57</td> <td>70</td> <td>177</td> </tr> </tbody> </table>				サロン名	回数	保護者	子ども	ボランティア	合計	ぱおぞう(笹原)	4	15	17	8	40	ひよこサロン(東須屋)	0	0	0	0	0	コアラサロン(武蔵野台)	7	10	10	23	43	サロン愛(南須屋)	4	21	26	15	62	パンダサロン(杉並台)	5	30	30	30	90	こぐまサロン(新開)	9	63	79	55	197	めだかサロン(若原)	9	50	57	70	177
サロン名	回数	保護者	子ども	ボランティア	合計																																														
ぱおぞう(笹原)	4	15	17	8	40																																														
ひよこサロン(東須屋)	0	0	0	0	0																																														
コアラサロン(武蔵野台)	7	10	10	23	43																																														
サロン愛(南須屋)	4	21	26	15	62																																														
パンダサロン(杉並台)	5	30	30	30	90																																														
こぐまサロン(新開)	9	63	79	55	197																																														
めだかサロン(若原)	9	50	57	70	177																																														
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																																																
135	地域子育てふれあい交流事業	継続	独自事業																																																
(事業の内容、実績) 乳幼児から高齢者、障がいを持った方や地域の方、ボランティア、民生委員児童委員などとの交流を促進し、孤立しがちな核家族の親子が異世代の交流を通してつながりを持ち、大切なことの伝承や人とふれあうことで、互いに理解を深め、支えあう地域づくりを目的に実施する計画であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度は、中止とした。		事業費	地域子育て支援事業																																																
		実施日時	未実施																																																
		実施場所	ふれあい館 このみ坂保育園																																																
		対象者	就園前の親子																																																
		延利用数	名																																																

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
136 137	児童センター設置運営事業	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 地域の子どもたちが健全な遊びを通じて、健康や体力を増進し、情操を豊かにしていくための施設として設置・運営した。 ゆうぎしつ・あそびにわ、児童図書を設置、おもちゃの貸出・管理、利用者登録管理、子育て支援の情報提供と相談、安全点検管理を行った。 コロナウイルス感染状況や社会情勢を鑑みて、受け入れ基準を定めた。レベル2以上では市内在住のみの利用とし、マスク着用・検温を入室時に 行い人数・時間制限を設け、換気や遊具消毒など感染対策を実施して開館した。 <開設日数>288日 <開設時間>午前9時00分～午前11時30分 午後1時00分～午後4時30分(日曜日は休館) <新規登録>子ども 579名 保護者・大人 480名 <利用者数>幼児 3,439名 小学生 44名 中・高校生2名 保護者2,537名		事業費	児童センター事業 5,000千円
		実施日時	月曜日～土曜日(休館:日 祝日・年末年始)
		実施場所	ふれあい館
		対象者	0歳～18歳までの 児童とその家族
		人数	6,022名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
136・ 139・143	児童厚生員の設置事業	単年度	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 遊びや生活を通して健全育成を行うと共に、子どもや保護者が抱えている課題に対応し関係機関に繋いだ。また、母親クラブ等の地域組織の育成及び支援を行った。平日に行う『ちょこっとタイム』では、読み聞かせや手遊びを行い親子のふれあいタイムとなり定着している。『ちょこっとタイム』は感染状況が落ち着いている時に不定期に実施し、行事については感染状況や内容によっては延期とした。内容については個人や家族単位で出来るものなど内容を工夫した。12月にはドライブインシアターを開催し、小さい子を持つ親や障がいを持つ家族も周りを気にする事なく、コロナ禍でも家族単位で安心・安全に楽しめるものであり、好評であった。 <利用者数> ○文化交流行事 (フルーツコンサート・ボードゲーム・みんなでクリスマス・ドライブインシアター) 381名 ○月曜日～金曜日(木曜日を除く)“ちょこっとタイム”として、読み聞かせ・体操、手遊び・ふれあい遊び等を不定期で行い、子育て相談を実施。 66名 ○厚生労働省委託事業(出張児童館)コロナウイルス感染防止の為、中止 ○西児童館クラブ(地域組織活動育成事業)では、サークル活動運営・入会に関する相談支援等を実施。 ○月1回の避難訓練(火災・地震・不審者対策) 53名 ○相談対応 53名		事業費	児童センター事業
		実施日時	開館日:月曜日～日曜日 288日
		実施場所	ふれあい館
		対象者	0歳～18歳までの 児童とその家族
		人数	553名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
140 145	親と子の食事セミナー自然体験活動事業	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 子どもの栄養・食を通じた心の健全育成や、家族団らんの食事の楽しさ等を学ぶため、食事に関する講習会を行うとともに、親子や親同士の交流事業を実施しているが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、野外活動、野外で出来る調理、各自で作る等の工夫を行い、この時期においても食の大切さを知らせ、生きる力を育むことを目的に実施した。 <利用者数> 稲収穫体験 15名 カラフルカップ寿司を作ろう 10名 ウォークラリー 15名 あぐりっこくらぶ 99名 和菓子作り 12名 たけのご掘り 26名		事業費	児童センター事業
		実施日時	土曜日・長期休暇中
		実施場所	ふれあい館・ふれあい農園
		対象者	0歳～18歳までの 児童とその家族
		人数	177名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
141・143 149	夏休み児童館特別企画	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 夏休み期間を活用し、主に幼稚園以上の親子や年長児を対象として、地域の方を講師に、この時期にしかできない体験を行うことにより、感性を高め、仲間づくりや児童の健全な育成を図ることを目的に実施した。今年度から体力増進活動の一環として講師による体操教室を不定期で実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止、また例年夏のこどもたちのイベント『キッズフェス』は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期とした。 <利用者数> ・キッズフェス 11月に延期 121名 ・ピエロッカー座公演 11月に延期 76名 ・スライム作り 48名 ・ちよこっとタイム特別編 辻滉平さんの体操遊び 中止		事業費	児童センター事業
		実施日時	夏季休暇中
		実施場所	ふれあい館
		対象者	0歳～18歳までの児童とその家族
		人数	245名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
142	児童福祉週間特別事業	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 児童福祉週間に伴い、児童の健全育成や親子・地域のふれあい交流の啓発を目的として開催。標語や来館者による子どもへのメッセージの掲示を行った。地域のボランティアの方と共に、ふれあい館玄関外に多くのこいのぼり掲揚を行った。		事業費	児童センター事業
		実施日時	5月5日～11日
		実施場所	ふれあい館
		対象者	0歳～18歳までの児童とその家族
		人数	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
146	体力増進活動	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 運動やスポーツを通して心と身体の健康づくりや意欲向上を図り、児童やその家族が健康・体力活動に取り組むことによって、家庭での健康づくりを推進するために事業を実施している。今年度も密をさけるために、ちよこっとタイム『うんどうあそび』は実施できなかったが、行事では体操あそびを実施した。 <利用者数> あそび教室 21名		事業費	児童センター事業
		実施日時	土曜日
		実施場所	ふれあい館
		対象者	0歳～18歳までの児童とその家族
		人数	21名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
147	子育てサークル育成事業	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 子どもの社会性を育むための交流活動や保護者同士の情報交換、学習会、食育などを行う子育て中の親子が自主的に集まるグループ育成に努め、地域の「子育て力」を高め、共に育ち合う豊かな子育てを応援する事を目的として事業を実施した。活動が円滑に行われるために助成金の整備、場所の提供、活動内容の相談及び協力、会員の紹介等を行った。コロナ禍でサークルメンバーに連絡を取りながら、感染拡大防止に配慮した活動を実施した。1団体は、コロナ禍で調理中心の活動である事や働く母親の増加、それに伴うこどもの就園等の要因から今後どのような形で活動していくか検討中である。 <利用実績> ○アリスくらぶ(就学前親子) 遊びを通して親子で仲間作り。子育ての悩みや情報交換をしながら互いに育ちあう。 ○クッキングママ(就園前の親子と子育て中の親) 食育を通して仲間作り ○西児童館サークル会議を1回実施		事業費	各サークル助成金 60千円(共同募金)
		対象者	2団体
		実施場所	ふれあい館
		対象者	就学前親子
		延べ参加数	292名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
148 149	年長児(小学生年長児・中高生)等来館促進事業	単年度	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 音楽やスポーツ等を通して、同世代の交流・情報交換ができることを目的に居場所づくりを促進した。恒例の赤ちゃんふれあい交流では、赤ちゃんや保護者と関わり命の大切さや親への感謝、自己肯定感を高め将来の子育ての貴重な体験とし虐待予防につなげることを目的に開催しているが、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。また、中高生の居場所づくりは音楽スペース開放を実施し、行事としてドラムレッスンを開催した。 <利用者数> 赤ちゃんふれあい交流体験 中止 中高生居場所づくり 18名 ドラムレッスン 8名		事業費	児童センター事業
		実施日時	中高生居場所作り 土曜日
		実施場所	ふれあい館
		対象者	小学年長児～ 高校生
		人数	26名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
150	ファミリーサポートセンター事業 コーディネーターおよびアドバイザーの設置	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 核家族化や都市化の進展により、家族や現行の保育サービスでは応じきれない保育ニーズを補完し、仕事と育児の両立を支援するために会員登録制による組織化を行った。会員相互による育児の援助活動の調整等を行うコーディネーターの設置により、保育ニーズに合わせた協力会員のコーディネート柔軟に対応し、市役所(子育て支援課・保健師)、保育所や医療機関など子育て支援関連機関との連絡調整を行い、サポートセンター活動を展開した。南ヶ丘福祉支援センターでも登録・報告書の提出が可能に対応した。 <活動時間> 6時～22時 <利用料金> 月～金 7時～20時 700円、 早朝・夜間・土・日・祝日800円 ※市内在住の方は市が半額助成 <広報>ファミサポ通信		事業費	18,173千円
		実施日時	月曜日～土曜日 8時30分～17時30
		実施場所	ふれあい館
		対象者	0歳～小学校6年生(障がいをもつ18歳)の保護者
		人数	会員総数 1,608名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
151	ファミリーサポートセンター事業 会員登録及びサービス利用の促進	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) 必要とする方に周知するため、保育所や市内医療機関にサービスの説明やチラシの設置協力を行った。 また、産褥期や多胎児を育てる家庭の家事支援についての相談対応を継続し、育児不安に対応を行った。 <会員登録数> ・利用会員1,144名 協力会員385名 両方会員79人 <利用状況> ・活動件数1,757件 活動時間 6,429時間 ・月平均件数 146件 <主な内容> ・保育所、幼稚園の送り 46件 ・保護者講習会の参加や多胎児支援 86件 ・保護者のリフレッシュ 189件 ・子どもの習い事等の場合の援助 264件		事業費	ファミリーサポートセンター事業
		実施日時	活動時間 6時～22時
		実施場所	ふれあい館
		対象者	0歳～小学校6年生 (障がいをもつ18歳)
		人数	会員総数 1,608名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
152-156	ファミリーサポートセンター事業 会員養成講習会および交流会の開催	継続	合志市受託事業
<養成講座> ファミリーサポート協力会員養成講座、24時間以上(全11日間) 延べ受講者数 150名 <交流会> 会員の親交を深めるとともに、会員の情報交換の場を目的に年3回開催した。 10/5(火)10/22(金)11/9(火)11/19(金) 利用会員4名 協力会員10名 こども4名 計18名 (内容)自己紹介、事業紹介、茶話会 預かる側の協力会員・両方会員のフリートーク <全体交流会> 新型コロナウイルス感染症、蔓延防止のため中止 <フォローアップ研修:救急法> 9/9(木) 参加者:協力会員6名 職員2名 計8名		事業費	ファミリーサポートセンター事業
		実施日時	全16日間
		実施場所	ふれあい館、南ヶ丘福祉支援センタ
		対象者	登録会員及び会員になりたい方
		人数	参加総数 176名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
155	緊急サポートネットワーク事業 深夜・お泊り支援の実施	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) ファミリーサポートでは対応できない お泊り保育を補うことで、より充実した援助活動を実施した。24時間対応携帯電話により緊急時の相談に対応した。 <利用料金> 小学生 4,000円 3歳～就学前 5,000円 3歳未満 6,000円 ※市が半額助成、その他実費負担あり <会員登録数> ・利用会員 493名 ・協力会員 118名 総数611名 <利用状況> 利用件数 140件		事業費	ファミリーサポートセンター事業
		実施日時	20時～翌8時
		実施場所	原則 協力会員宅
		対象者	0歳～小学校6年生をもつ保護者
		人数	登録会員 611名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
156	緊急サポートネットワーク事業 病児預かり促進	継続	合志市受託事業
(事業の内容、実績) ファミリーサポートでは対応できない病院受診・病児預かりを補うことで、より充実した援助活動を実施した。保育所・医療機関の協力もあり、スムーズに行うことができた。 <利用料金> 月～金 1,000円、土1,100円 (日・祝日の活動は原則として行わない) ※市が半額助成、その他実費負担あり <会員登録数> ・利用会員 364名 ・協力会員 105名 <利用状況> ・緊急サポート活動 (病院受診2件、病児預かり11件)		事業費	ファミリーサポートセンター事業
		実施日時	病児預かり7:30～20 病院受診9～18
		実施場所	原則協力会員宅
		対象者	0歳～小学校6年生をもつ保護者
		人数	登録会員469名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
157-160	病児・病後児保育事業「すこやか」	継続	合志市受託事業
(事業内容) 病中、または病気回復期にある子どもの預かり保育を行い、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成及び資質の向上を目的に実施した。嘱託医の協力により、職員のスキルアップ研修実施や病状の変化を相談しながら保育を行った。預かりを通して、保護者に子育てや病気時の対応について助言し、病気のお子のお世話と仕事の両立をする保護者に寄り添った支援を行うことができた。コロナウイルスの流行に伴い感染防止の観点から1人1部屋(個別対応)とし保育を行った。 (実績者数)11月以外ほぼ市内在住者のみ(病状等利用制限あり)、1人1部屋(定員3名に制限)制限により利用者減少となった ・総登録者数3,860名(新規登録 220名)・延利用数 276名(市外利用者21名) ・利用世帯状況(課税130非課税 0 非課税ひとり親 12 生活保護 1) ・当日及び前日キャンセル 52名 ・開設日数 293日(日・祝日、12/29～1/3は休日) (利用料金/1日) *5時間未満は半額 課税世帯・・・2,000円 非課税世帯・・・1,000円 非課税ひとり親世帯・生活保護世帯・・・無料 *減免は、証明書提出		事業費	病児保育事業 15,079千円
		実施日時	月～金7:30～18:00 土曜日7:30～13:30
		実施場所	ふれあい館
		対象者	市内、熊本市在住、保護者が市内に勤務する (2ヶ月～小学3年生など)
		人数	定員3名、利用総数276名 (内市外21名)
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
161	病児・病後児保育事業 月曜こども健康・育児相談	継続	独自事業
(事業の内容、実績) 子どもの健康や、育児に関する相談について、病児病後児担当の看護師またはこども支援センター保育士等が対応し、身近な相談窓口として育児不安の解消になるように寄り添った対応を心がけながら実施した。事前予約制を取り入れ、主に南ヶ丘福祉支援センターで実施。利用者の数も増加している。 (相談内容) ・体重測定や発達等(言葉や発達遅延の悩み)に関すること ・離乳食に関すること (食分量・食事形態について) ・子どもの病気に関すること (アレルギーや皮膚トラブルの対応等) ・便秘等排泄に関すること ・睡眠、夜泣き、断乳に関する事、母親の体調に関すること		事業費	病児保育事業
		実施日時	毎月曜日 10:00～11:30
		実施場所	南ヶ丘福祉支援センター ふれあい館
		対象者	全子育て世帯
		人数	222名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態															
162-164 166	キッズクラブの設置運営	継続	合志市受託事業															
(事業の内容、実績) 保護者が労働等により昼間家庭にいない児童を預かり、子育てと仕事の両立支援と児童の健全育成を図ることを目的に各学校で実施している学童クラブでは対応できない19時以降の利用が必要な児童を優先して実施した。家族状況が急遽変わり、支援が必要な児童についても迅速に対応した。コロナ禍の状況ではあったが、長期休みに実施している交流についても、例年より規模を縮小したり、小集団で行ったりなどの対策をしながら、交流を行うことができた。夏休みに毎年実施している平和交流は、感染症対策として今回はビデオレターを送る間接的な交流となったが、子ども達が送った質問にも答えてもらうことができ、子ども達にとって良い学びの場となった。 <利用料> ・基本料金 3,000円 ・月曜日～金曜日 300円(軽食付) ・土曜日・長期休暇等 600円(軽食付) <利用状況> ・延利用者 5,965名(平日平均利用数24名) 開所日数 269日		事業費	放課後児童健全育成事業費 15,363千円															
		実施日時	月～金 12時～20時 土 8時～20時 長期休暇 9時～20時 年間 269日開設															
		実施場所	ふれあい館															
		対象者	西合志東小、西合志南小、 西合志中央小 1～6年生															
		人数	(年度当初)定員38名 (年度末)定員36名 延利用数 5,965名															
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態															
165 166	学童クラブ障がい児受入	継続	合志市受託事業															
(事業の内容、実績) 障がいのある子どもが、学童クラブを利用する機会を確保し、子ども同士が生活を通して共に成長できるよう職員配置を行い、保護者や関係機関と連携をとり支援を行った。 <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>(登録数)</td> <td>(延べ利用数)</td> </tr> <tr> <td>キッズクラブ</td> <td>3名</td> <td>447名</td> </tr> <tr> <td>くすの木クラブ</td> <td>1名</td> <td>99名</td> </tr> <tr> <td>ぴーすクラブ</td> <td>1名</td> <td>169名</td> </tr> <tr> <td>(計)</td> <td><u>5名</u></td> <td><u>715名</u></td> </tr> </table>			(登録数)	(延べ利用数)	キッズクラブ	3名	447名	くすの木クラブ	1名	99名	ぴーすクラブ	1名	169名	(計)	<u>5名</u>	<u>715名</u>	事業費	障害児預かり事業 7,824千円
	(登録数)	(延べ利用数)																
キッズクラブ	3名	447名																
くすの木クラブ	1名	99名																
ぴーすクラブ	1名	169名																
(計)	<u>5名</u>	<u>715名</u>																
		実施日時	各学童クラブと同じ															
		実施場所	各学童クラブと同じ															
		対象者	障がいがある児童															
		人数	登録数 5名 延利用数 715名															
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態															
162-164 166	第一小学校地域学童クラブ(くすの木クラブ)の設置運営	継続	合志市受託事業															
(事業の内容、実績) 保護者が労働等により昼間保育が出来ない児童を預かり、子育てと仕事の両立支援と児童の健全育成を図ることを目的に実施した。また、コロナ禍の中で、衛生管理に配慮した活動の実施をした。学校との連携を密に取り、情報共有に努めた。また、地域の中にある学童として子どもたちに意識させるために、隣接する公園の清掃を行った。 <利用料> ・通常月 7,000円 ・4、7、12月 8,000円 ・8月 10,000円 ・土曜利用料 1回600円 ・延長利用料 200円/1回 <利用状況> ・延べ利用者数 1,240名 (平日平均利用 5.0名) 開所日数 256日		事業費	放課後児童健全育成事業 90,920千円															
		実施日時	月～金 12時～19時 土 8時～19時 長期休暇 8時～19時 年間 256日開設															
		実施場所	立割老人憩いの家															
		対象者	西合志第一小1～6年生															
		人数	(年度当初)定員11名 (年度末)定員11名 延利用者数1,240名															

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
157-160	病児病後児保育室「陽(光)」の設置運営	継続	合志市受託事業
<p>(事業内容)</p> <p>南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり敷地内において、生後2ヶ月から原則小学校3年生まで(センター長が認めたものは小学校6年生まで)の児童を対象に、胃腸炎を除く病中、または病気回復期にある子どもの預かり保育を行い、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成及び資質の向上に寄与することを目的に実施した。</p> <p>〈実績者数〉11月以外ほぼ市内在住者のみ(病状等利用制限あり)、感染予防の為定員を1人と制限した為、人数減少となる</p> <p>延べ利用者数 56人(市外利用者数 0人)(課税世帯 30人非課税世帯 0人 非課税ひとり親世帯 8人 生活保護世帯0人)</p> <p>開設日数 242日(土日・祝日、12/29~1/3は休日)</p> <p>《利用料金/1日》 *5時間未満は半額。</p> <p>課税世帯・・・2,000円 非課税世帯・・・1,000円</p> <p>非課税ひとり親世帯・生活保護世帯・・・無料 *減免は、証明書提出</p>		事業費	7,539千円
		実施日時	月曜日～金曜日 7:30～18:00
		実施場所	南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり
		対象者	生後2ヶ月～ 原則小学校3年生
		人数	定員1名,利用総数56名 (内市外0名)
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
162-164 166	学童保育「びーすクラブ」の設置運営	継続	合志市受託事業
<p>(事業内容)</p> <p>南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかりにおいて、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童を預かり、子育てと仕事の両立支援と児童の健全育成を図ることを目的に学校の学童クラブでは対応できない児童を対象に実施した。年々増加している待機児童の受け皿として対応を図った。</p> <p>今年度はコロナウイルスの感染拡大防止のため、地域交流行事は行わなかったが、学童交流やおやつ作り等、コロナ禍でも可能な行事を取り入れた。</p> <p>〈利用料〉</p> <p>・通常月 7,000円 ・4、7、12月 8,000円</p> <p>・8月 12,000円 ・土曜利用料 1回600円</p> <p>・延長利用料 200円/1回</p> <p>(利用状況)</p> <p>・延べ利用者数 2,229人 平均利用者数(日) 6.6人</p> <p>・開所日数 254日</p>		事業費	7,737千円
		実施日時	月～金 正午～午後8時 土曜日、長期休暇 午前8時～午後8時
		実施場所	南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり
		対象者	合志南小学校1年～6年生 合志南ヶ丘小学校1年～6年
		人数	(年度当初) 10名 (年度末) 13名 延利用者数2,229名
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
167-169	長期休暇等児童預かり事業	継続	合志市受託事業
<p>(事業の内容、実績)</p> <p>保護者が労働等により夏休み等長期期間中の昼間保育ができない児童を預かり、子育てと仕事の両立支援と児童の健全育成を図ることを目的に実施した。コロナ感染症の影響で夏休みも短く、利用者も少なかった。また、コロナ感染拡大防止のため地域の民生委員との交流は取りやめたが、活動にレクリエーションや水遊びを実施し子どもたちの心身の開放に繋げた。</p> <p>〈利用料〉・長期休暇期間</p> <p>・春休み 3,500円(4月) ・夏休み 16,000円</p> <p>・秋休み 2,000円 ・冬休み 3,500円</p> <p>・春休み 3,500円(3月) *別途保険料等 年間2,000円</p> <p>・登録数 くすの木 11名 南ヶ丘 4名</p> <p>・延利用数 169名 74名</p>		事業費	1,802千円
		実施日時	月～金 8時～18時 開設40日
		実施場所	くすの木クラブ 南ヶ丘福祉支援センターひかり(夏、秋期のみ)
		対象者	学童クラブに在籍しない 1年生～6年生
		人数	延利用数243名

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
170 171	ひとり親家庭等日常生活支援事業 「生活援助員派遣事業」「子育て支援員派遣事業」	継続	合志市受託事業										
<p>(事業内容)</p> <p>ひとり親家庭等が修学や疾病等の理由により一時的に家事、育児等の日常生活に支障が生じた場合に、家庭生活支援員が児童の世話、家事等日常生活の支援を行うことを目的に家庭生活支援員の調整を行い、ひとり親家庭等の生活の安定や自立を支援した。</p> <p>※家庭生活支援員は熊本県家庭生活支援員養成講習会を修了したもので、生活援助員派遣はホームヘルパー3級以上の有資格者とする。</p> <p>(利用実績)</p> <p>・4月 1回利用(生活援助) ・5月 2回利用(生活援助) ・R4・3月 4回利用(生活援助)</p>		事業費	事務費300円×日数 支援員活動費										
		実施日時	4/30 5/1.2 R4.3/7.8.9.10.										
		実施場所	利用者自宅										
		対象者	児童を養育する母子・ 父子家庭及び寡婦										
		利用者数	2人 延べ利用数 7回										
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
172	合志市子育て短期支援事業	継続	合志市受託事業										
<p>(事業内容)</p> <p>保護者が仕事やその他の理由により夜間や休日に不在となる家庭において児童を養育することが困難となった場合や緊急の場合において、児童を保護し、食事等の提供。</p> <p>(利用実績)</p> <p>今年度利用なし</p>		事業費	実施要綱基準額による										
		実施日時	必要時に 市より依頼										
		実施場所	こども支援センター										
		対象者	保護者の仕事等により 夜間等に不在										
		利用者数	利用なし										
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
173	ふらっとホーム太陽事業	継続	その他の事業										
<p>(事業内容)</p> <p>地域の福祉力を高めていくため、南ヶ丘地域の福祉の拠点となり得るよう事業推進を行った。また、社会環境の変化に伴い複雑化・多様化している地域の人々の悩み事や困りごとを確実に受け止め、総合的かつ適切に対応できるようにするため相談支援を行った。</p> <p>(利用実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用区分</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者サロン</td> <td>24回</td> </tr> <tr> <td>専門相談(行政書士)</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>お元気コール</td> <td>406回</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>432回</td> </tr> </tbody> </table>		利用区分	回数	高齢者サロン	24回	専門相談(行政書士)	2回	お元気コール	406回	計	432回	事業費	事業ごとに設定
利用区分	回数												
高齢者サロン	24回												
専門相談(行政書士)	2回												
お元気コール	406回												
計	432回												
		実施日時	事業ごとに設定										
		実施場所	南ヶ丘福祉支援センタ 一輝き館ひかり										
		対象者	合志市市民										
		利用回数	432回										

令和3年度 事業報告書

担 当 課	班
介護サービス課	デイサービスセンター班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

- (1) 指定第1号通所事業、指定通所介護事業、生活介護事業、共通。
- ① 新型コロナの影響で、既存利用者の利用控えや新規利用者の獲得も思わしくなかった。
 - ② 感染予防対策として、各所に消毒液設置を行い、利用者・職員共にマスク着用の徹底、一日2回の検温、手指消毒の実施。デイホール全域の椅子、テーブル、手すり、福祉用具等の朝夕の消毒、送迎車も使用直後に車内消毒を実施した。全ての対策を現在も継続中である。
 - ③ デイホール及び食堂ホール内の密集を防ぐ為、介護保険利用者(含む生活介護利用者)と第一号利用者とは別室で事業を実施した。現在も利用者数に応じて実施中である。
- (2) 指定第一号通所事業:要支援認定者
- ① 月平均利用者数は前年度に比べ22%の減少であった。
 - ② 国による「まん延防止等重点措置」発令に伴い1月25日～3月21日の解除されるまで感染リスク軽減の為の利用時間短縮(通常9:20～15:00までを9:20～12:30までに短縮)を行った。3月22日からは通常時間に戻しての業務を行った。
- (3) 指定通所介護事業:要介護認定者
- ① 新型コロナの影響により、当初予測した利用者率とはならなかった。
 - ② 感染対策が功を奏し、事業所内から新型コロナ感染の発生はなく事業の継続がはかれた。
 - ③ 主に独居高齢者の為の延長サービスに代わる夕食弁当持ち帰りは継続中。服薬忘れを防ぐ為、配薬カレンダーの確認や声掛けも送迎時に支援した。
- (4) 生活介護事業:基準該当サービス
- ① 月平均利用者数は前年度に比べ16%の減少であった。
- (5) 通所型サービスA・C、訪問型サービスC:合志市委託事業
- ① 国による「まん延防止等重点措置」発令に伴い1月25日～3月21日の解除されるまで、市からの指示により感染リスク軽減の為の利用時間短縮(通常9:20～15:00までを9:20～12:30までに短縮)を行った。3月22日から通常時間(A型15時、C型13時半まで)での事業再開となった。

2 業務を推進していく場合の課題

- ・ 年末年始や祝日といった休日の利用ニーズに対応する専門職の確保と採算性。
- ・ 介護の重度化や認知症、医療ニーズの高い方の受入れを見据えた職員の質の向上と看護師を中心とした緊急時や看取りの体制整備。

3 今後の方向性

- ・ 法改正に伴う加算関係の変更に対応する為の研さんを行い、さらなる加算取得と支援内容の向上を目指す。
- ・ 在宅生活継続と心身機能維持の為にも通所サービスの必要性は高まっていくと考えられるので、今後も感染者を出さない事業所であり続け、感染予防対策と安定した事業継続を図っていく。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
165	介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービスA(みどり館)	継続	合志市受託事業								
(事業の内容) 介護予防を目的に運動指導や栄養、口腔指導、認知症予防の脳トレ、レクリエーションを通して楽しみとなる趣味活動を実施。また季節ごとの行事や創作活動を行った。年度当初より、まん延防止期間中や県のリスクレベルが高い時期は、営業時間を短縮し支援を行った。毎回の検温や手洗い・消毒など感染予防対策を徹底して支援を行った。通所型サービスCから移行した利用者がほとんどで、要支援の利用者の増加もみられた。事業見直しにより、令和4年度は通所型サービスAが水曜・木曜・金曜、3日間の営業となる。		営業日	水曜日 金曜日								
		営業時間	10:00～15:00								
		休日	祝日 12/29～1/3								
		対象者	65歳以上								
		利用定員	20人								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>年間利用数</th> <th>開設日</th> <th>1日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通所型A</td> <td>1200人</td> <td>97日</td> <td>12.4人</td> </tr> </tbody> </table>				内容	年間利用数	開設日	1日平均	通所型A	1200人	97日	12.4人
内容	年間利用数	開設日	1日平均								
通所型A	1200人	97日	12.4人								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
166	介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービスC(みどり館)	継続	合志市受託事業								
(事業の内容) 6ヶ月間集中的に身体機能の向上を目的に運動指導を行い、個別に訓練の指導、自宅での運動が継続できるようアドバイスを行った。また栄養指導や口腔機能向上のための指導、認知症予防の脳トレを実施することで利用者の心身機能向上を図ることができた。年度当初より、まん延防止期間中や県のリスクレベルが高い時期は、営業時間を短縮し支援を行った。コロナ禍による外出頻度が減ったことでの利用希望や知人からの紹介などにより、新規利用者の増加がみられた。介護申請により、途中で卒業する場合もあったが、卒業後は通所型サービスAへの移行が多かった。事業見直しにより、令和4年度はみどり館での通所型サービスCは終了となる。		営業日	木曜日								
		営業時間	10:00～13:30								
		休日	祝日 12/29～1/3								
		対象者	65歳以上								
		利用定員	20人								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>年間利用数</th> <th>開設日</th> <th>1日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通所型C</td> <td>464人</td> <td>48日</td> <td>9.7人</td> </tr> </tbody> </table>				内容	年間利用数	開設日	1日平均	通所型C	464人	48日	9.7人
内容	年間利用数	開設日	1日平均								
通所型C	464人	48日	9.7人								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
167	介護予防・日常生活支援総合事業 訪問型サービスC(個人宅訪問)	継続	合志市受託事業								
(事業の内容) 作業療法士が通所サービス利用前と終了時の2回自宅を訪問し、自宅での生活状況や役割、社会参加の状況をたずね、自宅での動作確認を実施。訪問内容をふまえた上で、利用者の身体機能の維持・改善のための個別プログラムを立案し自宅で継続して実行できるようアドバイスを行った。通所型サービス終了時の自宅訪問では、初回自宅訪問時と比較し、身体機能の改善がみられた。事業見直しにより、令和4年度はみどり館での訪問型サービスCは終了となる。		営業日	随時実施								
		営業時間	随時実施								
		休日	祝日 12/29～1/3								
		対象者	65歳以上								
		利用定員	20人								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>年間訪問回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問型C</td> <td>54回</td> </tr> </tbody> </table>				内容	年間訪問回数	訪問型C	54回				
内容	年間訪問回数										
訪問型C	54回										

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態												
168	総合事業:第1号通所事業(ふれあい館)	継続	介護保険事業												
(事業内容) 要支援1,2の方を対象に、介護予防・日常生活の自立を目的に支援を行った。介護予防の観点から、運動機能向上・口腔機能向上・認知症予防・低栄養の予防を目的に講話を行った。コロナまん延防止の発令により午前中の営業の日があったものの、運動や口腔ケアは自宅でも取り組めるように元気積立帳を作り、介護予防への取り組みの強化を図り、機能低下防止に努めた。		営業日	火曜日～金曜日												
		営業時間	9:20～15:00												
		休日	土・日曜日 12/29～1/3												
利用実人数(令和3年度実績) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>開設日数</th> <th>延べ人数</th> <th>一日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>207日</td> <td>1013人</td> <td>4.9人</td> </tr> </tbody> </table>		開設日数	延べ人数	一日平均	207日	1013人	4.9人	対象者	要支援1・2の認定を受けられた方						
開設日数	延べ人数	一日平均													
207日	1013人	4.9人													
		利用定員	40人(含む通所介護、生活介護)												
169	指定通所介護事業(ふれあい館)	継続	介護保険事業												
(事業内容) 要介護1～5の方を対象に、自立支援を基本とし、家族支援を視野に入れサービスを行った。介護報酬改定により科学的介護加算の導入、ADL維持加算(令和4年度はさらに強化予定)にて、運動、訓練の充実を図り、機能維持だけでなく、向上した方も多く見られた。コロナ感染症拡大の為、外出行事や交流行事に代わって室内で出来る季節行事を充実した。断らない介護をもとに、重度の認知症の方も積極的に受け入れ、お一人お一人に寄り添い、最期の時までデイサービスに利用して頂くよう努めた。又、延長サービスに代わる夕食弁当の提供を継続することで栄養維持を行うことが出来た。夕食弁当サービス(195件) 介護度別利用実人数(令和3年度末実績)1日平均 要介護1～5 23.6人 開設日数311日、延べ回数7328日 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>介護1</th> <th>介護2</th> <th>介護3</th> <th>介護4</th> <th>介護5</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>320人</td> <td>210人</td> <td>99人</td> <td>48人</td> <td>24人</td> <td>701人</td> </tr> </tbody> </table>		介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	320人	210人	99人	48人	24人	701人	営業日	月曜日～土曜日
介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計										
320人	210人	99人	48人	24人	701人										
		営業時間	9:20～16:30												
		休日	日曜日 12/29～1/3												
		対象者	要介護1～5の認定を受けられた方												
		利用定員	40人(含む第1号通所、生活介護)												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態												
170	基準該当生活介護サービス(ふれあい館)	継続	その他の事業												
(事業内容) 入浴や排泄、食事等の介護や、創作活動、レクリエーションを通して、他者との交流の機会を提供した。自立した生活や社会生活を営むことができるよう、生活能力の向上の為に必要なリハビリを個別に実施した。年齢が介護保険利用の方に近い方の受け入れを継続してきたが、介護への移行はなく生活介護での利用継続となっている。		営業日	月曜日～土曜日												
		営業時間	9:30～15:00 9:30～16:30												
		休日	日曜日 12/29～1/3												
(実績) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>登録人数</th> <th>年間利用回数</th> <th>開設日</th> <th>1日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4人</td> <td>377回</td> <td>312日</td> <td>1.2人</td> </tr> </tbody> </table>		登録人数	年間利用回数	開設日	1日平均	4人	377回	312日	1.2人	対象者	障害手帳をお持ちの方				
登録人数	年間利用回数	開設日	1日平均												
4人	377回	312日	1.2人												
		利用定員	5人以内 (合計40人含む通所介護、第一号通所)												

令和3年度 事業報告書

担 当 課	班
介護サービス課	ヘルパーステーション班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 指定訪問介護、予防訪問介護事業

訪問介護においては、延べ利用者数は前年度より120名の利用増であった。訪問件数も958件増加、結果、報酬増につながった。要介護者では、ほとんどの利用者に認知症状が見られ、身体介護の見守りの援助のサービス内容が増えた。認知症状のある利用者に対しては、自立支援・重度化防止をケアの基軸としたかかわりをする事で、少しでも病状の進行を防ぐことに努めた。

総合事業利用は、生活支援が多く掃除支援が中心であった。ケアプランの掃除支援の内容と利用者の考えとの相違があり、支援が中止となることが数件あった。

(2) 訪問型サービスA事業(市委託事業)

新たなサポーター登録は養成講座修了者の1人であった。実際の支援の場で思い描いていた仕事内容と相違があり、数か月で離職する結果となった。要介護認定申請から結果が判明するまでの対応も多く、支援者の選定に苦慮した。

(3) 認知症高齢者家族やすらぎ支援事業(市委託事業)

今年度利用実績なし。

(4) 有償ヘルパーサービス事業(介護 独自事業)

介護保険制度上、介護ヘルパーによる支援は不可、また代替のサービスもなく当ヘルパーでなくてはならない利用者に対し59件の支援を実施した。一人暮らしで家族の協力も得ることが少ない利用者が増え、有償サービス利用者もわずかに増えつつある。

(5) 障がい福祉サービス事業(居宅介護等・重度訪問介護・同行援護)

昨年同様、コロナ禍の影響もあり家事支援等のサービスの提供は、前年度と比べ若干の減少が見られている。身体介護の入浴サービスの利用に関しても、他のサービス(通所等)利用で濃厚接触者となり、サービス利用を控えるなどの状況があり利用に影響した。重度訪問介護は1件の利用増となり、同行援護のサービス提供と共に安全で安心した支援提供となった。

(6) 移動支援事業(地域生活支援事業・市委託事業)

延べ利用者数は28名と昨年度とほぼ変わらず、利用回数も111件とかなりの減少数で報酬も減少した。コロナ禍の影響が大きいと思われる。しかし、少数ではあるが利用者の余暇活動の援助ができ、楽しみにつなげることができた。

(7) 有償ヘルパーサービス事業(障がい 独自事業)

受診時の有償ヘルパーの利用は2年度11件、3年度2件と著しく減少した。主に受診時の利用であり、コロナ禍で受診を控え内服のみの受診が多く、利用に影響したと思われる。

2 業務を推進していく場合の課題

登録ヘルパーの約半数が高齢者である現状で、新たな支援の受け入れが大変困難な状況にある。特に報酬に大きく影響する身体介護の受け入れが困難な状況である。

3 今後の方向性

自立支援と重度化防止のサービス提供を見据え、自主研修会などを通じて各ヘルパーへの指導を行い更なる質の向上に努めていく。介護保険サービスと障がい福祉サービス事業所の組織を一体化し充足した支援に努めていきたい。また、介護サービスをはじめ、諸制度の福祉サービスとの連携を強化推進し在宅生活の継続を支えていくとともに、その要であるヘルパーの確保に努めていく。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																												
171-175	訪問介護事業	継続	介護保険事業																												
<p>(事業内容)</p> <p>自宅での生活に支障がある高齢者に対して、訪問介護サービスを提供。要介護認定者、生活機能の衰えを早期に発見する基本チェックリスト該当者が対象。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指定訪問介護(要介護1から5)、○ 予防訪問介護(要支援1、2) ○ 訪問型サービスA、認知症高齢者家族やすらぎ支援事業(市委託) ○ 有償ホームヘルプサービス事業(独自サービス) <p>(実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績数</th> <th>サービス別</th> <th>延べ利用者数(人)</th> <th>訪問件数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">介護保険</td> <td>介護</td> <td>619</td> <td>5,365</td> </tr> <tr> <td>予防(総合)</td> <td>614</td> <td>3,818</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">市委託事業</td> <td>訪問型サービスA</td> <td>220</td> <td>886</td> </tr> <tr> <td>やすらぎ</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>独自事業</td> <td>有償ヘルパー</td> <td>24</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>1,477</td> <td>10,126</td> </tr> </tbody> </table> <p>(新規利用者数)</p> <p>○新規利用者 36人、○中止 11人</p>		実績数	サービス別	延べ利用者数(人)	訪問件数(件)	介護保険	介護	619	5,365	予防(総合)	614	3,818	市委託事業	訪問型サービスA	220	886	やすらぎ	0	0	独自事業	有償ヘルパー	24	57		合計	1,477	10,126	営業日	月曜日～土曜日		
実績数	サービス別	延べ利用者数(人)	訪問件数(件)																												
介護保険	介護	619	5,365																												
	予防(総合)	614	3,818																												
市委託事業	訪問型サービスA	220	886																												
	やすらぎ	0	0																												
独自事業	有償ヘルパー	24	57																												
	合計	1,477	10,126																												
		営業時間	8:30～17:30 他、必要に応じ対応																												
		休日	日曜日 12/29～1/3																												
		対象者	介護やその予防が必要な高齢者																												
		利用定員	120名程度																												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																												
176-179	障がい者(児)訪問支援事業	継続	障がい者(児)訪問事業																												
<p>(事業内容)</p> <p>心身に障害を持った方や重度の肢体不自由、知的障害があり、常に介護を必要とする方に対して、家事援助や身体介護、重度訪問介護・同行援護・移動支援事業(市委託)・有償ホームヘルプサービス事業(独自事業)等の訪問サービスを提供。</p> <p>(実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>サービス別</th> <th>延べ利用者数(人)</th> <th>総利用時間数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>居宅介護等</td> <td>身体介護・家事援助</td> <td>546</td> <td>6,213</td> </tr> <tr> <td>重度訪問介護</td> <td></td> <td>36</td> <td>425</td> </tr> <tr> <td>同行援護</td> <td></td> <td>12</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>委託事業</td> <td>移動支援</td> <td>27</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>独自事業</td> <td>有償ヘルパー</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>624</td> <td>6,817</td> </tr> </tbody> </table> <p>(新規利用者数)</p> <p>○新規利用者 7人、○中止 1人</p>		項目	サービス別	延べ利用者数(人)	総利用時間数	居宅介護等	身体介護・家事援助	546	6,213	重度訪問介護		36	425	同行援護		12	65	委託事業	移動支援	27	110	独自事業	有償ヘルパー	3	4		合計	624	6,817	営業日	月曜日～土曜日
項目	サービス別	延べ利用者数(人)	総利用時間数																												
居宅介護等	身体介護・家事援助	546	6,213																												
重度訪問介護		36	425																												
同行援護		12	65																												
委託事業	移動支援	27	110																												
独自事業	有償ヘルパー	3	4																												
	合計	624	6,817																												
		営業時間	8:30～17:30 必要に応じ対応																												
		休日	日曜日 12/29～1/3																												
		対象者	障がい手帳所持者(児)																												
		利用定員	60名程度																												

令和3年度 事業報告書

担当課	班
介護サービス課	訪問看護ステーション班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 指定訪問看護・予防訪問看護事業

年度当初の利用者総数10名(介護8名、予防2名)であった。休止に伴い令和4年1月末までに他事業所へ引き継ぎを完了。

(2) 医療保険訪問看護事業

年度当初の利用者総数は7名であった。休止に伴い令和4年1月末までに他事業所へ引き継ぎを完了。

(3) 総括事項

緊急訪問対応24件、うち救急搬送3件であった。夜間、早朝、深夜対応は4件であった。訪問終了は5件。内訳は、在宅看取り2件、入院中の死亡1件、長期入院1件、入所1件であった。

職員の定着及び職員確保困難により、令和3年3月31日をもって事業休止となることが決定したので、ご利用者に説明を行い、他事業所等へ引き継ぎを行った。引き継ぎについては、問題なく引き継ぐことができた。

2 業務を推進していく場合の課題

法人内での医療体制の構築と専門職の確保

3 今後の方向性

未定

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
180-184	指定訪問看護事業	休止	介護保険事業
(事業内容)		営業日	月曜日～金曜日
指定訪問看護事業(介護保険及び医療保険)・指定難病医療機関・指定小児慢性特定疾病医療機関・指定自立支援(精神通院医療)医療機関等により、医師の指示のもと、一人一人の状態に応じた訪問看護サービス提供を行った。本年度、在宅看取りは2件であった。訪問終了者が15件で前年度の3倍近くであった。新型コロナウイルス濃厚接触者対応は2件であった。		営業時間	8:30～17:15 他緊急時対応あり
(実績)		休日	土、日曜日 12/29～1/3
実績数	サービス別	利用者数(人)	訪問件数(件)
介護保険	介護	86	574
	予防	17	71
医療保険	国民健康保険	48	564
	社会保険	17	
	合計	168	1,209
		対象者	医師が必要と認め指示を受けた
		利用定員	30名程度



eスポーツ活動の様子(地域高齢者サロン)

令和3年度 事業報告書

担 当 課	班
介護サービス課	ケアプランセンター班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 指定居宅介護支援事業(介護保険事業)

加齢や疾病による心身機能の低下により、不安定な生活を送る方々に、指定居宅サービス等の紹介を行ない、また、生活困窮の方に対し、安心サポート合志や地域包括支援センターと連携し、出来るかぎり安全で安定した生活が送れるように、一人ひとりの思いに寄り添いながら支援を行なった。

総合事業においては、インフォーマルサービス等の情報収集と導入に努め、利用者の現有能力機能を最大限に生かせるケアプランを作成、他機関多職種との連携に努めたことで、安定した生活環境の確保ができ、要介護から要支援へ状態が軽快された方もいた。また、新型コロナウイルスの影響で外部研修が軒並みオンライン実施となるなか、他の事業所と共同で事例検討会を企画、利用者の生活の質の向上を図ることができた。

(2) 福祉支援センター事業

当事業所は当会独自事業である福祉支援センター事業(介護相談・福祉用具貸出など。)も兼務しており、合志市の一般市民の方々からの相談等に迅速に対応し、介護保険事業に留まることなく福祉相談の場としても機能しながら適切な支援へスムーズに繋ぐことができた。

2 業務を推進していく場合の課題

(1) 福祉業界のマンパワー不足により、利用者の意向に対応できない状況が度々みられるようになっていいる。施設環境は整うが人材不足により閉所、休業、合併を余儀なくされる事業所もあり、受け入れ先を探すことに苦慮する場合もある。

(2) 合志市は新興住宅地が多く、その住宅地の高齢者人口が増加傾向にある。今後、必要とされるインフォーマルサービスに対し、地域の若い力が必要となってくるため、これまで以上に若年世代との連携が重要となる。

(3) 地域福祉に力を入れている社協が運営するケアプランセンターであるため、住民の方からの直接の依頼や包括支援センターや民生委員からの依頼を受けることが多い。地域の方の安心な生活環境を確保するために地域の方々との連携を強化し続ける必要がある。

(4) 社会福祉協議会は単なる経営事業としてではなく、地域福祉の視点に立った事業所の運営が求められている。災害時の支援方法についても更に検討して行く必要がある。

3 今後の方向性

(1) インフォーマルサービスを含む地域の社会資源について、利用者へ情報提供を適宜行なうことで社協のケアプランセンター(地域福祉を目的とした介護事業)の特色を発揮できるよう努める。

(2) 利用者の意欲、能力を十分活用し、自立支援に向けたケアプランの内容充実を図る。

(3) 地域包括ケアの一員として行政や地域包括支援センター、各種団体(民児協等)との連携強化を図る。併せて社内他課と連携、協働しながら総合的な支援を提供していく。

(4) 支援が困難な事例に対しては、安心サポート合志や地域包括支援センター等と連携、粘り強い対応を行なっていくことで利用者の生活の質の向上を図る。

(5) 合志市全域をスムーズに支援できる体制作り(拠点整備等)の検討を行う。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																					
194 195	指定居宅介護支援事業 介護予防、介護予防ケアマネジメント事業	継続	介護保険事業																					
(事業の内容) 在宅で受けられる指定居宅サービスの紹介やインフォーマルサービス等の調整、ケアプランの作成、サービス利用に係る費用の計算・請求等を利用者に代わり行った。		営業日	月曜日から金曜日																					
(実績)		営業時間	8:30～17:30																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護支援専門員常勤換算数</td> <td>4.5名</td> </tr> <tr> <td>要介護利用者数(年間)</td> <td>1,860名</td> </tr> <tr> <td>要支援利用者数(年間)</td> <td>147名</td> </tr> <tr> <td>月平均利用者数</td> <td>167名</td> </tr> <tr> <td>月平均担当者数(要介護)</td> <td>34.4名/CM</td> </tr> <tr> <td>月平均担当者数(要支援)1/2換算</td> <td>1.5名/CM</td> </tr> <tr> <td>月平均合計担当者数</td> <td>35.9名/CM</td> </tr> </tbody> </table>		項目	人数	介護支援専門員常勤換算数	4.5名	要介護利用者数(年間)	1,860名	要支援利用者数(年間)	147名	月平均利用者数	167名	月平均担当者数(要介護)	34.4名/CM	月平均担当者数(要支援)1/2換算	1.5名/CM	月平均合計担当者数	35.9名/CM	休日	土・日・祝日、 12/29～1/3					
項目	人数																							
介護支援専門員常勤換算数	4.5名																							
要介護利用者数(年間)	1,860名																							
要支援利用者数(年間)	147名																							
月平均利用者数	167名																							
月平均担当者数(要介護)	34.4名/CM																							
月平均担当者数(要支援)1/2換算	1.5名/CM																							
月平均合計担当者数	35.9名/CM																							
		対象者	要介護・要支援認定者																					
		月担当上限数	39人/CM																					
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																					
196	介護認定訪問調査事業	継続	合志市受託事業																					
(事業の内容) 合志市からの委託により、要支援認定者更新時の訪問調査を実施。		営業日	月曜日から金曜日																					
(実績) 合志市から依頼が入り次第随時対応することとなっている。3年度は市より調査依頼が入らなかったため実績なし。		営業時間	8:30～17:30																					
		休日	土・日・祝日 12/29～1/3																					
		対象者	合志市民																					
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																					
197	介護保険代行申請事業	継続	独自事業																					
相談実績		営業日	月曜日から金曜日																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>来館及び訪問</th> <th>電話相談</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27件</td> <td>89件</td> <td>116件</td> </tr> </tbody> </table>		来館及び訪問	電話相談	計	27件	89件	116件	営業時間	8:30～17:30															
来館及び訪問	電話相談	計																						
27件	89件	116件																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>相談区分</th> <th>内訳</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">居宅介護支援</td> <td>居宅依頼</td> <td>66件</td> </tr> <tr> <td>介護保険申請代行</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>福祉用具について</td> <td>18件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">連絡調整活動</td> <td>他事業所の紹介</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>包括への情報提供</td> <td>21件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>116件</td> </tr> </tbody> </table>		相談区分	内訳	件数	居宅介護支援	居宅依頼	66件	介護保険申請代行	2件	福祉用具について	18件	連絡調整活動	他事業所の紹介	7件	包括への情報提供	21件	その他		2件	合計		116件	休日	土・日・祝日、12/29～1/3
相談区分	内訳	件数																						
居宅介護支援	居宅依頼	66件																						
	介護保険申請代行	2件																						
	福祉用具について	18件																						
連絡調整活動	他事業所の紹介	7件																						
	包括への情報提供	21件																						
その他		2件																						
合計		116件																						
		対象者	合志市民																					

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
198	福祉用具貸出事業	継続	独自事業
福祉用具貸出実績		貸出期間	原則2週間
	項目	用具数	
	車いす(介助用)	49件	
	車いす(自走用)	34件	
	トイレ用具(ポータブルトイレ等)	28件	貸出件数
	入浴用具(浴槽件、シャワー椅子等)	13件	125件
	歩行器	0件	
	補助具(杖等)	1件	その他
	ほか(スロープ等)	0件	他法優先
	合計	125件	
※介護保険等のサービスに該当する場合等は原則不可。但し、現品が届くまでの間や試用を希望された場合などの特別な理由があれば貸出を行なっている。			



ダンボール恐竜(ふれあいフェスティバル2021 展示①)



れんがの家利用児製作(ふれあいフェスティバル2021 展示②)

令和3年度 事業報告書

担 当 課	班
このみ坂保育園	このみ坂保育園

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

- (1) 施設の運営・経営管理について
 児童福祉法及び関係法令を遵守し、社内管理規定や運営方針、経理管理や職員体制(規定の職員配置)等、安定した運営を図ることができた。
- (2) 保育内容について
- ① 本会及び園の基本理念を基盤とした保育方針のもと、保育課程を編成し、年間の指導計画や毎月の指導計画、毎週の週案を立案、日々の保育についての、評価・反省・子どもの個人記録は、担任だけでなく全職員が子どもの育ちの状況を理解し、一人ひとりの気持ちに寄り添う保育を行った。
 - ② 異年齢編成の保育では、協調性が養われるとともにお互いが思いやりをもって接することの大切さを学ぶ場となった。
 - ③ コロナ禍の中、夏祭りのお神輿披露や運動会など、工夫することにより保護者参加の行事が開催できた。また、フルートとピアノの生演奏コンサートを zoom 配信と併せて行ったことは、子どもだけではなく保護者も一緒に音楽に触れる機会となり大変喜んでいただいた。
 - ④ 障がいの有無にかかわらず、様々な背景を持っている子どもが集団生活を楽しく過ごせるような工夫と配慮をし、全職員が見守りに努め、安心して日々過ごすことができるように心掛けた。また、関係機関には相談やケース会議を開催して連携を行った。
 - ⑤ 健康管理(病気)、事故対応(ケガ・病院受診)では、保育看護を担当する看護師を中心に対応を行った。園での事故については、すべて加入している保険で対応した。
 - ⑥ 給食では、栄養士、調理師が中心となり、在園児に対し、農園で収穫した野菜を食材として使うことで子どもの食育活動にも効果があった。
 - ⑦ 地域交流については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、社協内のデイサービスが行う敬老の日に合わせ、ビデオレターによる太鼓の披露や高齢者へのメッセージを送る取り組みを行った。また、年間活動として農園や絵本の読み聞かせを通して異世代とのつながりを強めた。
 - ⑧ 「つどいの広場」は、家庭で子育て中の方の居場所としての役割を担った。保護者同士のつながりからピアカウンセリングが広がるなど、コロナ禍ではあったが多くの利用があり、子育ての負担感の軽減に努めた。

2 業務を推進していく場合の課題

- (1) キャリアアップ制度を利用して処遇改善を図り、専門リーダーの育成を行うとともに、その役割を業務の中で遂行する。
- (2) 保育現場の負担軽減に向けた業務改善
- (3) 保育の質の確保と向上
- (4) 専門業者や専属担当を配置して業務の効率化をはかる。(清掃・用務)
- (5) 施設や遊具・備品等の整備を図り、計画的に改修等を行う。

3 今後の方向性

- (1) 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底
- (2) コロナ禍における行事の取り組み
- (3) 異年齢保育の充実
- (4) 子どもの健康管理や安全対策の徹底
- (5) 職員の資質向上、専門性の追求

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
220-223	通常保育事業 (異年齢保育・障がい児保育・体力、食育推進)	継続	児童福祉法
(1) 保育理念である「人を思い、人を育て、ヒューマニズムを育む保育園」を基本に、「優しさや思いやり」を育てることを大切にする保育に取り組んだ。社協の保育園としての特色を生かし、異世代交流、地域交流や体験活動などを日常に取り入れた。 入所児童数(定員90名) 園児総数(86～99名) ① 異年齢保育では3. 4. 5歳児の年齢差がある子どもが、生活や遊びの中で人と関わりながら育ち合う学びがあった。 ② インクルーシブ保育を心掛け、支援や配慮が必要とされる子どもには保護者や関係機関との連携を図りながら対応した。 ③ 体力・食育推進は、保育者だけでなく、外部講師や地域のボランティアと共に活動した。	事業費	107,784千円	
	実施日時	R3年4月1日～ R4年3月31日	
	実施場所	このみ坂保育園	
	対象者	0歳児～5歳児	
	人数	園児総数99名	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
224-227	その他の事業 (延長保育・一時保育・副食費徴収事業)	継続	児童福祉法
(1) 延長保育事業 (月曜日～土曜日 18:01～20:00) 多様な就労形態に対応するため、通常保育を延長して保育を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、19:00までとした。 (2) 一時保育(自主事業) 子育て支援である、児童の健全育成、保護者支援等福祉の増進を図ることを目的にした自主事業で行った。 (実施日数9日 延べ利用者22名) (3) 副食費徴収事業 令和元年10月からの保育料の無償化に伴い、主食費同様、副食費については園で徴収しているが、現金徴収から口座振替による徴収方法に変更となった。	事業費	3, 020千円	
	実施日時	R3年4月1日～ R4年3月31日	
	実施場所	このみ坂保育園	
	対象者	このみ坂保育園児 及び合志市内対象児	
	人数	延長利用児童43名 利用者総数1, 084名	
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
228-229	地域子育て拠点事業(ひろば型)	継続	合志市受託事業
(つどいの広場:わかば) 地域の子育て支援として、子育て中の親子等が家庭に引きこもることなく、気軽に集える場所の提供を行い、子育ての不安や悩みを共有し交流することができた。 (親子交流、ピアカウンセリング、情報の提供、子どもの発達相談、季節のイベント) 開催 月～金曜日 10:00～15:00 利用料 なし (参加状況) ・開催日231日 (行事企画回数15回 参加者238名) ・新規来園者98組 ・利用者 乳幼児210名 保護者196名 総数1, 483名	事業費	4, 250千円	
	実施日時	R3年4月1日～ R4年3月31日	
	実施場所	このみ坂保育園内 専用保育室	
	対象者	家庭内保育を行っている親子	
	人数	参加総数1, 483名	

令和3年度 事業報告書

担 当 課	班
障がい者支援センター	スペーシアれんが班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

【障がい者支援センターとしての取り組み】

- (1) 今年度は、障がい福祉等報酬改正の内容を踏まえ、感染症や災害への対応力の強化、適切なサービス提供を行う体制構築を目的に、課内に4つの委員会(感染管理委員会、災害時対策委員会、安全管理委員会、虐待防止・身体拘束対策委員会)を設置、会議や課内研修を行うとともに職員間の連携を図る取り組みを行った。
- (2) 新型コロナ感染症対策については、感染症の発生およびまん延防止等に対する対策において感染管理委員会を中心にリスクレベルに応じた対策を徹底し実施した。また、福祉サービスの業務継続を行う上では、事業ごとに社会情勢、国、県等の指針や指導に合わせながら対応を行い、相談支援および通所支援において途切れないサービスの提供を行った。しかしながら、新型コロナ陽性者の発生に伴い感染拡大を防止する点から、児童発達支援事業(4日間)放課後等デイサービス事業(2日間)の事業所閉所も実施した。職場環境の整備では、れんがの家屋内の職員事務所を2分化した。スペーシア事務所内の密をさける対応としては、ノートパソコンを活用し分散業務を実施した。
- (3) 福祉現場における支援の質の向上を目的にICT化を進め、新たなソフトの導入、Wi-Fi環境の整備、テレビ電話等の活用、利用者や保護者への迅速な連絡ツールとして公式LINEの導入を行った。

【スペーシアれんが(放課後等デイサービス: 重心児5名、重心児外10名)の取り組み】

- (1) 発達支援: 昨年に引き続き、感染予防策を講じながら多彩な活動プログラムを実施した。くまもと障がい者芸術展やれんがのなかまたち展への出品等を通して、一人ひとりの個性や創造性を育むとともに、地域住民との相互理解や多様性が尊重される社会づくりといった視点においても重要な意味を持つ取り組みとなった。
- (2) 保護者支援: 感染状況を踏まえ、可能な限りニーズに応じた利用調整を行うとともに、利用自粛された家庭に対する電話相談や家庭訪問等による臨時的支援を昨年同様継続した。今年度は半期に一度の家族面談を重点項目に位置付け、家庭への相談支援体制の強化を図った。
- (3) より専門的支援の必要な医療的ケア児や、ケアニーズの高い児童等の療育体制を整備するため、看護師、作業療法士等の職員配置の充実化を図った。
- (4) 良質で適切なサービスの提供を目的に、第三者評価を受審している。新型コロナ感染拡大の影響で延期の状況。また、熊本県子ども総合療育センターによる定期支援を受け、専門性の向上に取り組んだ。

【日中一時支援】

- (1) 今年度より、学童期のみを受け入れとした。日中一時支援のニーズは減少傾向にあるものの、必要に応じた利用調整のもと、日中活動の機会の提供や家族のレスパイトケアを継続した。

2 業務を推進していく場合の課題

【放課後等デイサービス、日中一時支援】

コロナ禍において社会参加型の活動制限やイベント等を縮小せざるを得ないなか、体験し経験する場を提供するための活動プログラム立案と、感染予防対策の両立。

3 今後の方向性

【放課後等デイサービス】

- (1) 個別支援の強化(子どもの意欲や主体性を尊重した支援の展開)。
- (2) 職員集団と職場環境づくり(業務マニュアルの策定、職場内ミーティングの充実)。
- (3) サービスの質の向上のための取り組み(第三者評価や事業所自己評価結果の検討)。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
216	放課後等デイサービス事業	継続	児童福祉法								
(事業内容) スペースアレンがにおいて、障がいのある学齢期の子どもたちを、授業の終了後又は休業日に預かり、生活能力の向上のために必要な訓練、地域社会との交流促進、その他様々な社会体験を通し、利用児の健全育成を図ることを目的に実施した。また、就労されている保護者への支援としても、午前7:30から午後7時までの延長預かりを実施した。医療的ケア児に対応するため、看護師の配置を行い対応した。 (年間実績者数・放課後等デイサービス事業)		営業日	月曜日～土曜日								
		営業時間	8:30～17:30								
		休日	日、祝日 12/29～1/3								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>2880人</td> </tr> <tr> <td>開所日数</td> <td>291日</td> </tr> <tr> <td>平均利用者数(日)</td> <td>9.8人</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度		延べ利用者数	2880人	開所日数	291日	平均利用者数(日)	9.8人	対象者	障がい児
令和3年度											
延べ利用者数	2880人										
開所日数	291日										
平均利用者数(日)	9.8人										
		利用定員	重心児外:10名								
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態								
216	放課後等デイサービス(重症心身障害児)	継続	児童福祉法								
(事業内容) スペースアレンがにおいて、重度心身障がいのある学齢期の子どもたちを、授業の終了後又は休業日に預かり、生活能力の向上のために必要な訓練、地域社会との交流促進、その他様々な社会体験を通し子どもたちの健全育成を図ることを目的に実施した。医療的ケアを必要とする児童に対して看護師の人員配置を整え、より細やかなケアの提供を実施した。また、就労されている保護者への支援としても、午前7:30から午後7時までの預かりを行った。 (年間実績者数・放課後等デイサービス事業(重症心身障害児)		営業日	月曜日～土曜日								
		営業時間	8:30～17:30								
		休日	日、祝日 12/29～1/3								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>1397人</td> </tr> <tr> <td>開所日数</td> <td>291日</td> </tr> <tr> <td>平均利用者数(日)</td> <td>4.8人</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度		延べ利用者数	1397人	開所日数	291日	平均利用者数(日)	4.8人	対象者	重度心身障がい児
令和3年度											
延べ利用者数	1397人										
開所日数	291日										
平均利用者数(日)	4.8人										
		利用定員	5人								
番号	事業の名称	新規	事業形態								
217	日中一時支援事業	継続	合志市委託事業								
(事業内容) 合志市在住の障がいのある小・中・高校生の日中一時預かりを行った。主に放課後等デイサービス利用児童の保護者の就労等による一時預かりを目的として対応している。 (年間利用者数)		営業日	月曜日～土曜日								
		営業時間	8:30～17:30								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>237人</td> </tr> <tr> <td>開所日数</td> <td>291日</td> </tr> <tr> <td>平均利用者数</td> <td>0.8人</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度		延べ利用者数	237人	開所日数	291日	平均利用者数	0.8人	休日	日、祝日、年末年始、長期休の土曜
令和3年度											
延べ利用者数	237人										
開所日数	291日										
平均利用者数	0.8人										
(利用者・利用児数)		対象者	障害児・者								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>行動援護対象者</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>5人</td> <td>4人</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table>		区分	行動援護対象者	その他	合計	令和3年度	5人	4人	9人	利用定員	平日5人 休日8人
区分	行動援護対象者	その他	合計								
令和3年度	5人	4人	9人								

令和3年度 事業報告書

担 当 課	班
障がい者支援センター	障がい通所支援班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 児童発達支援(定員10名)

- ・ 10名定員の小集団を利用児の年齢、発達段階等により2つのグループに分けた。活動場所を別にし、それぞれの年齢、特性に配慮し構造化した環境設定を行うことができた。例えば、未満・年少児グループには写真やイラストを中心とした視覚提示を行い自発的に行動できるよう配慮し、年中・年長児グループにはイラストと文字や時計を使用した視覚提示を行い見通しが立てやすい配慮を行った。
- ・ 活動に関しては、個別支援計画に基づき、小集団を生かした活動や利用児が楽しみながらそれぞれの個別課題が達成できるように考慮し丁寧な支援に取り組んだ。
- ・ 午後の午睡を中止し、個別活動として年長児を中心に就学に向けた活動に取り組んだ。集団と個別の両方からアプローチでき、就学にむけて、子どもたちの自信に繋がった。
- ・ 就学に向けたサポートとして、市健康づくり推進課が作成している「就学支援シート」を参考に、独自の「就学サポートシート」を作成。事業所での様子を詳しく記載し、小学校と連携し安心して入学できるように支援をおこなった。
- ・ コロナ禍で保護者会の開催ができにくい状況であったが、保護者同士顔見知りになる場、子どもや療育を知る場、保護者の学習の場として、保護者支援に取り組んだ。
- ・ 土曜日を家庭支援中心に設定し、個別対応にて親子で療育に参加してもらい関わり方を伝え、保護者の相談支援に取り組んだ。
- ・ 「障がい者芸術展」「れんがのなかまたち展」に出展し、芸術に触れ感性を育む活動に取り組んだ。また展示する機会を設け、利用児ひとりひとりが輝ける場とした。

2 業務を推進していく場合の課題

- ・ 新人職員配置に伴い、モチベーションを高く持って職務を遂行できるよう、障がい特性や児童発達支援、職員の役割をしっかりと伝え、職場環境も整えていく。

3 今後の方向性

(1) 児童発達支援

- ・ 土曜日を月1~2回の開所にし、平日の療育の充実を図る。
- ・ 土曜日を保護者会、活動見学、保護者相談、面談等、家庭支援の充実を図る。

番号	事業の名称	継続	事業形態		
215	児童発達支援事業1	継続	児童福祉法		
(事業内容) 発達に心配のある児童や障がいを持った児童が、身近な場所で年齢に応じた丁寧な支援を受けられるよう、個別支援計画に基づき、様々な領域の遊びや基本的な生活習慣の指導を取り入れ、児童の発育を促しながら実施した。今年度は活動形態を午前の小集団と午後の個別に変更、午後の活動を主に年長児を対象にし就学に向けた療育に取り組んだ。さらに午前の小集団を年長・年中児と、年少・未満児の2ぐる一ぶに分けより発達に応じた活動を行った。また、保護者会や面談等に取り組み、療育活動内容を保護者に知っていただくとともに、関わり方や今後の進路等の相談など、家庭支援にも力を注いだ。季節毎の外出行事(新型コロナウイルス感染症予防のため数回実施)、集団・地域行事への参加(土曜日及び長期休み)、地域交流は感染予防に配慮しながらできる範囲で行った。また、熊本保健科学大学の協力のもと、言語聴覚士学科教授による指導、専門性の高い療育支援が提供できた。(新型コロナウイルス感染症のため数回実施) 今年度も、「障がい者芸術展」に出品し、お菓子の香梅光の森店で開催した「れんがのなかまたち展」にも出展し、芸術に触れる機会を設け感性を育むとともに、地域への啓発も行った。		営業日	月~土		
		営業時間	月~金 8:30~17:30 土:8:30~13:00		
		休日	日、祝日 12/29~1/3		
		対象者	未就学の障がい児		
		利用定員	10名		
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態		
215	児童発達支援事業2	継続	児童福祉法		
(年間実績者数)					
延べ利用者数		開所日数	平均利用者数(日)		
2,334人		290日	8.0人		
(登録者数)					
障がい種別	身体	知的	発達	無診断	計
	0	5	12	15	32人
年齢別	未満児	年少	年中	年長	計
	2	12	7	11	32人
・新規契約数:14人					
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態		
215	児童発達支援事業3	継続	児童福祉法		
(見学・会議等連携)					
保護者見学	24件	保育所、他事業所から	2件		
幼稚園、保育所へ	3件	事業所内相談	48件		
関係機関連携	9件	個別支援会議	各児年に2回実施		
① 6月「就学に向けて」菊池圏域地域療育センター「優図」療育相談員講和(年長児保護者対象) ② 7月「親子ふれあい遊び」(にじ) ③ 9月「音楽遊び」(にじ・ほし合同) (新型コロナウイルス感染予防のためZOOMで配信) ④ 10月「親子であそぼう」(ほし) ⑤ 11月「親子で製作」(にじ) ⑥ 1月「年長児座談会」(年長児のみ) ⑦ 3月「就学に向けて」菊池圏域地域療育センター「ゆうず」療育相談員講話(年中児保護者対象) *④~⑦は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止					

【外部講師】 ・熊本保健科学大学(准教授)言語聴覚士言語訓練(1ヶ月に1～2回程度) ・元支援学校教諭(1ヶ月に1～2回) 【地域住民のボランティア協力行事及び地域交流行事】 ・お話し会、食育(畑活動)、クリスマス会、おもちゃ図書館、ハロウィン、音楽演奏			
番号	事業の名称	継続	事業形態
199～204	合志市地域活動支援センター	継続	合志市受託事業
(事業内容) 合志市委託事業として障がいをお持ちの方々の余暇活動及び相談支援を実施した。利用者間の関係づくりや相談援助なども細かに対応し、創作・生産活動を通して共同活動を行う事によりコミュニケーションを図った。生産活動の完成品は市内のユーパレス弁天・カントリーパークの物産等で展示販売した。		営業日	火・水・金・土
(年間利用者数) ・延利用者数:745人・登録者数:73人(地域別:合志市66人、菊池市5人、菊陽町0人、大津町0人、熊本市2人、他0人) (活動実績) ・創作活動:204件、生産活動:198件、相談援助:6件、他:2件、手話:19回(182人)、陶芸:25回(205人)、行事:7回(30人)		営業時間	9:00～16:00
		対象者	障がい者 菊池圏域住民



児童発達支援事業〈食育〉
ボランティアさんとともろこしの種植え

令和3年度 事業報告書

担 当 課	班
障がい者支援センター	障がい相談支援班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 相談支援事業

- ・ 今年度から、特定事業所として相談員を5名配置し、配置加算にも充当する研修も受講し、それぞれの相談員の専門性を高めながら、新規相談の受け入れを増やすことができた。
- ・ 相談支援体制の強化、地域づくりの推進役、相談員への助言、指導の役割を担う、主任相談支援専門員の配置を行った。
- ・ 安心サポート有志の障害者相談支援事業に、専任の相談員の配置をされたことで、より一層連携がとりやすくなり、計画相談も含めて、包括的な相談支援を行う事ができた。

(2) 生活介護(定員7名)

- ・ コロナ禍における利用支援として、利用自粛における家庭に対する電話、訪問等による臨時的支援を行った。
- ・ 感染対策を十分行った上で、利用者のニーズに応じた個別対応や、少人数での活動の提供ができた。

(3) 地域活動支援センター

- ・ 地域での生きづらさを抱えている方に対して、ご本人、ご家族の障がい受容にとらわれず、日中の居場所づくり、生きがいつくりの場所となるように受け入れる事で、就労、生活の場等の支援等を、相談支援専門員も介入し、行う事ができた。

2 業務を推進していく場合の課題

(1) 相談支援事業

- ・ 今年度もコロナ禍の中、自立支援協議会の開催、それぞれの部会の開催も難しい状況であった。しかし、コロナ禍における当事者、その家族が抱える課題も複雑、多様化している。個別の課題から地域の課題への認識、発展を目指すためにも、コロナ終息の見通しが立たない中での協議会のあり方を考える必要はある。

(2) 生活介護

- ・ 他事業とも連携を図り、環境調整を工夫はしているが、コロナ禍が続く中での限られたスペースでの環境整備は、今後も必要である。

(3) 地域活動支援センター

- ・ 課題を抱えている利用者を受け入れる中、専門性を問われる相談支援を必要とする場合もあるが、専属の相談員の定着が難しい状況である。

3 今後の方向性

(1) 相談支援

- ・ 社協の持つ他の相談機関(生活相談・介護・高齢福祉・地域・子ども等)や社会資源につなぐ役割ができるように、それぞれの専門性を発揮し、安心して相談できる相談基幹としての役割を目指していく。

(2) 生活介護

- ・ 放デイ卒業後の重心児の生活介護の行き場としてのニーズがある中、現在の環境での受け入れの難しさがある。引き続き、生活介護の活動拠点移行に伴う準備を行っていく。

(3) 地域活動支援センター

- ・ 気軽に利用できる日中の活動の場、居場所、生きがいつくりの場を提供することで、社会、地域とのつながりの場所としての役割も担っていく。

番号	事業の名称	継続	事業形態																				
206	合志市相談支援事業1(「れんがの家」のみ)	継続	合志市受託事業																				
(事業内容) 障がい者(児)・そのご家族等の相談に応じ、福祉サービスの紹介や、相談支援を行った。社協での相談支援事業所であることから、他県から転居予定の方、市民、市民以外、サービス事業所、保育園、幼稚園、学校(支援学校)からの相談や、医療機関等も含めて相談対応を行った。複雑な課題を抱えるケースにも、社協内、関係機関で必要な情報共有し、課題の解きほぐしを行なった。今年度も、菊池圏域自立支援協議会員として各部会への参加、サービス部会活動等は、新型コロナ感染予防の為、一部Zoomの開催もあったが、自粛傾向は続いていた。 R3年度一般相談件数:2,555件		営 業 日	月～土																				
		営 業 時 間	8:30～17:15																				
		休 日 日、祝日	12/29～1/3なし (日祝、営業時間外等は24時間電話での対応)																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>支援方法</th> <th>訪問</th> <th>来所</th> <th>同行</th> <th>電話</th> <th>メール</th> <th>会議</th> <th>調整</th> <th>他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>522</td> <td>188</td> <td>55</td> <td>977</td> <td>24</td> <td>299</td> <td>473</td> <td>17</td> <td>2,555</td> </tr> </tbody> </table>		支援方法	訪問	来所	同行	電話	メール	会議	調整	他	計		522	188	55	977	24	299	473	17	2,555	対 象 者	合志市住民他
支援方法	訪問	来所	同行	電話	メール	会議	調整	他	計														
	522	188	55	977	24	299	473	17	2,555														
番号	事業の名称	継続	事業形態																				
206	合志市相談支援事業2	継続	合志市受託事業																				
(年間相談支援内容) 支援内容別年間件数。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>① 福祉サービス調整 1,920件</td> <td>⑦ 家計・経済 5件</td> </tr> <tr> <td>② 障がい病気の理解 49件</td> <td>⑧ 生活技術 8件</td> </tr> <tr> <td>③ 健康医療 68件</td> <td>⑨ 就労 33件</td> </tr> <tr> <td>④ 不安・情緒安定 267件</td> <td>⑩ 社会参加余暇活動 0件</td> </tr> <tr> <td>⑤ 保育・教育 68件</td> <td>⑪ 権利擁護 9件</td> </tr> <tr> <td>⑥ 家族・人間関係 33件</td> <td>⑫ その他 95件</td> </tr> </tbody> </table> ※1件の相談において複数の内容があり、支援方法と支援内容の件数に誤差が生じる		① 福祉サービス調整 1,920件	⑦ 家計・経済 5件	② 障がい病気の理解 49件	⑧ 生活技術 8件	③ 健康医療 68件	⑨ 就労 33件	④ 不安・情緒安定 267件	⑩ 社会参加余暇活動 0件	⑤ 保育・教育 68件	⑪ 権利擁護 9件	⑥ 家族・人間関係 33件	⑫ その他 95件	営 業 日	月～土								
① 福祉サービス調整 1,920件	⑦ 家計・経済 5件																						
② 障がい病気の理解 49件	⑧ 生活技術 8件																						
③ 健康医療 68件	⑨ 就労 33件																						
④ 不安・情緒安定 267件	⑩ 社会参加余暇活動 0件																						
⑤ 保育・教育 68件	⑪ 権利擁護 9件																						
⑥ 家族・人間関係 33件	⑫ その他 95件																						
		営 業 時 間	8:30～17:15																				
		休 日 日、祝日	12/29～1/3なし (日祝、営業時間外等は24時間電話での対応)																				
		対 象 者	合志市住民他																				
番号	事業の名称	継続	事業形態																				
208	指定特定相談支援事業	継続	障がい者総合支援法																				
(事業内容) 障がい者の方が自立した生活に向けて適切にニーズに合った福祉サービスを利用できるよう、相談に応じながら、サービス等利用計画の作成、及び支給決定後のサービス等利用計画の見直し(モニタリング)を行った。今年度は、コロナ過の為、モニタリング、担当者会議等の開催は難しい状況であったが、必要な開催については、感染対策を十分行った上での環境調整や、リモート会議を行った。 R3年度年間実績 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>計画相談契約者総数</td> <td>201件</td> </tr> <tr> <td>サービス利用計画総数</td> <td>178件</td> </tr> <tr> <td>モニタリング報告総数</td> <td>362件</td> </tr> </tbody> </table>		計画相談契約者総数	201件	サービス利用計画総数	178件	モニタリング報告総数	362件	営 業 日	月～金														
計画相談契約者総数	201件																						
サービス利用計画総数	178件																						
モニタリング報告総数	362件																						
		営 業 時 間	8:30～17:15																				
		休 日	日、祝日 12/29～1/3																				
		対 象 者	障がい者																				

番号	事業の名称	継続	事業形態																						
209	指定障がい児相談支援事業	継続	障がい者総合支援法																						
<p>(事業内容)</p> <p>障がいのある児童が適切にニーズに合った福祉サービスの利用ができるよう保護者の相談に応じながら、サービス等利用計画の作成、及び支給決定後のサービス等利用計画の見直し(モニタリング)を行った。今年度は、コロナ過の為、モニタリング、担当者会議等の開催は難しい状況であったが、必要な開催については、感染対策を十分行った上での環境調整や、リモート会議を行った。</p> <p>R3年度年間実績</p> <table border="1"> <tr> <td>計画相談契約者総数</td> <td>354件</td> </tr> <tr> <td>サービス利用計画総数</td> <td>408件</td> </tr> <tr> <td>モニタリング報告総数</td> <td>570件</td> </tr> </table>		計画相談契約者総数	354件	サービス利用計画総数	408件	モニタリング報告総数	570件	営業日	月～金																
計画相談契約者総数	354件																								
サービス利用計画総数	408件																								
モニタリング報告総数	570件																								
		営業時間	8:30～17:15																						
		休日	日、祝日 12/29～1/3																						
		対象者	障がい児																						
219	生活介護	継続	障がい者総合支援法																						
<p>(事業内容)</p> <p>スペインアレンガにおいて、日常生活に必要な援助を要する障がいのある方に対し、入浴、排せつ及び食事等の介護、日常生活上の支援、創作活動、生産活動その他身体機能・生活能力向上のための機会を提供した。生産活動においては「廃油せっけん」や小物等を作り、クラッシュノ合志等で委託販売した。生産活動のほか、地域の美化活動やアレンガ内の環境整備の役割も担い、SDGSを意識しながら取り組んだ。</p> <p>(年間実績者数)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">令和3年度</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>1,248人</td> </tr> <tr> <td>開所日数</td> <td>241日</td> </tr> <tr> <td>平均利用者数(日)</td> <td>5.1人</td> </tr> </table> <p>(障害区分別利用者数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>6人</td> <td>1人</td> <td>11人</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度		登録者数	11人	延べ利用者数	1,248人	開所日数	241日	平均利用者数(日)	5.1人	区分	3	4	5	6	合計	令和3年度	2人	2人	6人	1人	11人	営業日	月曜日～金曜日
令和3年度																									
登録者数	11人																								
延べ利用者数	1,248人																								
開所日数	241日																								
平均利用者数(日)	5.1人																								
区分	3	4	5	6	合計																				
令和3年度	2人	2人	6人	1人	11人																				
		営業時間	8:30～17:30																						
		休日	土、日、祝日 12/29～1/3																						
		対象者	障がい者																						
		利用定員	7人																						



生活介護での廃油石鹸作りの様子

令和3年度 事業報告書

担 当 課	班
生活支援相談センター	生活支援班

1 本年度に取り組んだ業務の主な成果

(1) 地域福祉権利擁護事業、法人後見事業

- ・ 地域福祉権利擁護事業は、複合的な生活課題のある方の相談増により、支援も複雑化している。成年後見制度への移行も法人後見運営委員会(専門職・健康福祉部長等)で適切に行った。法人後見事業の受任者3名(後見類型1名・保佐類型2名)の支援は、専門職及び家庭裁判所の助言を受けながら実施した。

(2) 生活困窮者自立支援事業

- ・ 新型コロナウイルスの影響により、住居確保給付金や総合支援資金貸付、自立支援金の相談は、昨年度に引き続き増加している
- ・ プラン策定した相談者全員に生活向上の変化がみられ、就労プラン策定者29名中90%(一般就労開始17名、就労収入増加9名)に就労支援の効果がみられた。プラン作成外の46名にも一般就労開始及び収入が増加し、就労相談員としての機能を果たした。
- ・ 社会参加の必要な方の支援として、78名の方に訪問や同行支援など寄り添い支援を行った。転職を繰り返す方やひきこもり状態であった方の6名が就労定着。また、関係機関(就労準備支援・福祉サービスなど)に適切につながり見守り支援を行った。受診につながらない方には、医療機関と同行訪問を継続している。
- ・ 緊急対応策として、市民や関係機関の協力による現物給付(食糧、ライフラインの復活等)やこども食堂と連携による食糧支援体制が確立できている。
- ・ 生活困窮者を通じた地域づくりとしては、市内の医療・福祉・教育などの分野をつなぐ小規模法人のネットワーク化による共同推進事業に基づく会議や居住支援法人の会議に相談支援員が出席し、地域課題の提供と各機関との連携づくりを継続して行い、緊急一時宿泊場所の確保も行った。

(3) 合志市相談支援事業(障害相談)

- ・ 専門相談員を配置し、障害をお持ちの方や障害の疑いの方の包括的支援につながっている。

2 業務を推進していく場合の課題

- (1) 複合的な課題を抱えている方や複数の相談機関が関与している場合は、関係機関との情報共有及び連携を円滑に行うことが、より適切な支援につながるため、包括的支援ができるための職員育成
- (2) 社会とのつながりづくりや社会参加に向けた出口(就労・居場所づくり)メニューの把握及び地域社会と協働による構築
- (3) ひきこもり等の社会から孤立している方の支援は、伴走型の粘り強い支援継続が必要であり、そのための職員確保

3 今後の方向性

- (1) 重層的支援体制整備に向け、各分野及び関係機関とのネットワークを強化する。本人の状態像に応じたきめ細かい支援を行い、適切な支援のための社会資源(福祉制度など)の情報収集や職員間で定期的な研鑽を行う。
- (2) 早期に相談につながるために周知活動の継続及び関係機関に積極的に周知を行う。
- (3) ひきこもり状態にある方や複合的課題のある方の相談は、確実に相談を受け止め、信頼関係の構築を行う。関係機関とネットワークを形成するとともにアウトリーチ(訪問型)及び同行支援など丁寧な対応を行い、寄り添い支援を強化する。
- (4) 将来に不安を抱える方の支援(任意後見・死後事務)について、専門家の助言を受けながら、地域で安心して暮らせるための検討を継続する。

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																					
230～ 234	(委)生活困窮者自立相談支援事業	継続	合志市受託事業																					
<p>(事業内容)</p> <p>経済的困窮のみならず心身の問題、家庭の問題、就労の問題など複合的な課題に対しての相談対応及び支援を行った。訪問(アウトリーチ)による対応を含め、自立支援計画(支援プラン)を作成し、法に基づく事業等(支援サービス)を活用し対応した。</p> <p>(実績)・新規相談受付件数 420件(前年度494件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援決定確認数 122件 ・評価実施件数 76件 ・相談援助数 6,446件(前年度5,789件) <p>(法に基づく事業等の活用) ()は前年度</p> <table border="1"> <tr> <td>・住居確保給付金 24(27)件</td> <td>・就労準備支援事業 5(6)件</td> </tr> <tr> <td>・一時生活支援事業 2(4)件</td> <td>・子どもの学習生活支援事業</td> </tr> <tr> <td>・家計改善相談支援事業 61(44)件</td> <td>22(22)件</td> </tr> <tr> <td>・就労支援 41(37)件</td> <td></td> </tr> </table>		・住居確保給付金 24(27)件	・就労準備支援事業 5(6)件	・一時生活支援事業 2(4)件	・子どもの学習生活支援事業	・家計改善相談支援事業 61(44)件	22(22)件	・就労支援 41(37)件		根拠法	生活困窮者自立支援法													
・住居確保給付金 24(27)件	・就労準備支援事業 5(6)件																							
・一時生活支援事業 2(4)件	・子どもの学習生活支援事業																							
・家計改善相談支援事業 61(44)件	22(22)件																							
・就労支援 41(37)件																								
		実施日時	月曜日～金曜日 8:30～17:15																					
		実施機関	ヴァーブル																					
		対象者	合志市民																					
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																					
235	緊急食糧支援業務	継続	その他 独自																					
<p>(事業内容)</p> <p>生計困難者であって、緊急対応が必要な方に現物給付による支援を各機関に協力を得ながら実施した。</p> <p>○生計困難者レスキュー事業 熊本県社会福祉法人経営者協議会社会貢献事業として、現行制度で対応が困難な方の支援(ライフライン確保、食糧支援等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援回数 6件(前年度11件) <p>○食料支援 市民・団体(日本非常食推進機構・子ども食堂・セブンイレブン・母子会など)の協力によりいただいた食料等を現物給付で支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援回数 179回(前年度110回) ・給付物品 米、レトルト副菜、缶詰、日用品、衣類 ・生活品貸出 炊飯器など <p>○対人直接支援(熊本県生活困窮者に対する緊急・一時支援事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援数 10件(ライフライン確保等) 		支援日	随時																					
		対象者	合志市在住 生活困窮者																					
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態																					
236 238	相談支援、支援計画の作成 福祉サービス利用援助、日常生活金銭管理	継続	県社協委託事業 独自																					
<p>認知症や知的障がい、精神障がいなど判断能力が低下されている方を対象に、利用者との契約に基づき、地域で安心して暮らせるよう福祉サービス利用援助を中心として、支援計画に沿った日常的な金銭管理サービス、重要書類の預かり等の権利擁護支援を実施した。</p> <p>緊急的に支援が必要な方の本会預かりサービス事業も実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>前年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談援助件数</td> <td>2,353件</td> <td>3,192件</td> </tr> <tr> <td>新規契約締結件数</td> <td>6件</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>新規相談件数</td> <td>43件</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>終了件数</td> <td>4件</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>実利用延べ数</td> <td>143件</td> <td>128名</td> </tr> <tr> <td>社協預かりサービス数</td> <td>3名</td> <td>7名</td> </tr> </tbody> </table>			令和3年度	前年度	相談援助件数	2,353件	3,192件	新規契約締結件数	6件	9件	新規相談件数	43件	22件	終了件数	4件	9件	実利用延べ数	143件	128名	社協預かりサービス数	3名	7名	根拠法	社会福祉法第2条 第3項
	令和3年度	前年度																						
相談援助件数	2,353件	3,192件																						
新規契約締結件数	6件	9件																						
新規相談件数	43件	22件																						
終了件数	4件	9件																						
実利用延べ数	143件	128名																						
社協預かりサービス数	3名	7名																						
		実施日時	通年																					
		実施場所	ヴァーブル																					
		実施機関	本会																					

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
237	生活支援員の指導及び監督(地域福祉権利擁護事業)	継続	県社協委託事業										
	認知症や知的障がい、精神障がいなど判断能力が低下されている方を対象に、利用者との契約に基づき、福祉サービス利用援助において、利用者宅を生活支援員と同行訪問した。	根拠法	社会福祉法第2条第3項										
	(利用者実人数)	実施日時	通年										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>認知症</th> <th>知的障害</th> <th>精神障害</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>	認知症	知的障害	精神障害	その他	合計	9	1	4	1	15	実施場所	ヴァーブル
認知症	知的障害	精神障害	その他	合計									
9	1	4	1	15									
	(市民サポーター)	実施機関	本会										
	・生活支援員 4人:生活支援サポーター受講修了者(研修等)	人数	4名										
	・支援員研修の実施(職員合同) 1回 内容:県社協主催研修、情報共有												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
239	関係機関との協働研究及び委員会の運営 委員会による研究と連携ネットワーク	継続	独自										
	○職員研修 7回(専門職講師研修2回 自主研修5回)	根拠法	民法843条										
	○法人後見運営委員会設置 受任の適否の判断、後見業務の指導を行い、適正な後見業務を担保することを目的に設置	実施日時	通年										
	・委員:弁護士・司法書士・社会福祉士・市福祉部長・社協常務理事	実施場所	ヴァーブル										
	・委員会開催 年2回実施	実施機関	本会										
	・受任及び後見申立検討:2名(内地域福祉権利擁護事業利用者2名)												
番号	事業の名称	新規・継続	事業形態										
241～ 242	成年後見等受任 任意後見人契約 後見人等との相談及び支援 市民向け相談及び周知 制度外支援(死後事務等)の研究	継続	独自										
	認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など意思決定が困難な方の判断能力を補うため、法人が成年後見人、保佐人または補助人となることにより財産管理、身上保護を行い、権利を擁護することを目的に実施。法定後見人等受任については、法人成年後見事業運営委員会で協議し、決定を行う。	根拠法	民法843条										
	○法人後見事業 ・受任3件(後見類型1名 保佐類型2名)	実施日時	通年										
	○成年後見相談 12件	実施場所	ヴァーブル										
	・成年後見制度についての相談対応を行い、必要時には関係機関へつなぎ支援した。	実施機関	本会										
	※任意後見人契約及び制度外支援(死後事務等)の研究については、専門職からの助言を受けながら協議継続												

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
206	合志市相談支援事業	新規	市委託事業
<p>障がい者及び障がい児、その保護者または介護を行う方の相談をヴィーブル内で行うことにより、市関係機関やサービス事業所と連携を行い実施した。専門相談員を配置することにより、複合的課題に対する相談を強化できた。</p> <p>○相談総数 3,106件/年(前年度6,748件/年)※集計方法変更</p> <p>○新規登録者数 159人(児童88 成人71)</p> <p>○相談内容 ()内は前年度件数</p> <p>福祉サービスの利用等に関する支援 2,098件</p> <p>その他 303件</p> <p>不安の解消・情緒安定に関する支援 270件</p> <p>○虐待相談 5件(0件)</p>		根拠法	障害者自立支援法
		実施日時	通年
		実施場所	ヴィーブル
		実施機関	本会
		人数	登録数1,271人

安心創造ネットワーク

社会福祉法人 合志市社会福祉協議会

□本 所 保健福祉センターふれあい館 TEL 096-242-7000
〒861-1102 熊本県合志市須屋2251番地1 FAX 096-242-6635

ホームページ <http://www.koshi-shakyo.or.jp>